

令和 7 年度
松山市こども計画に関するアンケート調査
結果報告書

令和 8 年 2 月
松山市

目 次

1. 調査の概要.....	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の統計	1
(3) 回答状況	1
(4) 調査結果の表示方法	2
2. 小・中学生調査	3
(1) 基本情報	3
① 性別.....	3
(2) こどもの権利	4
① こどもの権利の認知度.....	4
(3) 成果指標関係	8
① 今、幸せだと思うか	8
② あなた自身について	9
③ 安心してすごせる「居場所」	10
④ ほしい「居場所」	12
⑤ 困ったときに相談したり、なやみを話せる人の有無	14
⑥ 困ったことが解決できたきっかけ	15
⑦ 自分の将来に希望を持っているか	16
⑧ 「こども家庭センター」の認知度	17
(4) こども施策関係.....	18
① 「にこっと」の認知度.....	18
② 「にこっと」を利用して感じたこと	18
③ 周りの大人へ言いたいこと	19
3. 高校生以上調査	24
(1) 基本情報	24
① 性別.....	24
② 今、学生か.....	24
③ 在学学校種別	25
④ こどもの有無【18歳以上が回答】	25
⑤ こどもの人数：未就学児	26
⑥ こどもの人数：小学生.....	26
⑦ こどもの人数：中学生.....	27
(2) こどもの権利	28
① こどもの権利の認知度.....	28

(3)	成果指標関係	32
①	今、幸せだと思うか	32
②	あなた自身について	33
③	安心してすごせる「居場所」【15歳～17歳のみ回答】	34
④	ほしい「居場所」	35
⑤	困ったときに相談したり、なやみを話せる人の有無	37
⑥	困ったことが解決できたきっかけ	38
⑦	自分の将来に希望を持っているか【39歳以下のみ回答】	39
⑧	「こども家庭センター」の認知度	39
⑨	「こども相談やすくすく・サポートなど、子育てについて困ったことや心配なことなどがあった時の相談先」の認知度	40
(4)	こども施策関係	41
①	「にこっと」の認知度	41
②	「にこっと」を利用して感じたこと	41
③	松山市のこども施策について、現在の取組みに関するご意見や市にしてほしいこと	42

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

松山市では、すべてのこどもたちが健やかに育つ社会をつくるため、「松山市こども計画」を策定し、こども・若者に関する取組みを推進しています。

みなさんの状況をお伺いし今後の取組みに反映させるため、アンケート調査を行いました。

(2) 調査の統計

調査対象	小学 5 年生以上の市内在住者（市内の学校等に通学する学生を含む）
調査方法	LoGo フォームを活用したインターネット調査（無記名式）
調査期間	令和 7 年 9 月 22 日～10 月 17 日

(3) 回答状況

回答者の年代	回答数
小学生（10 歳、11 歳）	3,011 件
中学生（12 歳～14 歳）	1,945 件
15 歳～17 歳	391 件
18 歳～39 歳	645 件
40 歳～64 歳	658 件
65 歳以上	32 件
不明	93 件
合計	6,775 件

※令和 7 年 4 月 1 日時点での年齢

(4) 調査結果の表示方法

- 設問ごとの集計母数は表、グラフ中に（n = ○○）と表記。
- 集計結果の百分率（％）は、小数点第 2 位を四捨五入した値を表記している。このため、回答設問の選択肢ごとの構成比の見かけ上の合計が 100.0%にならない場合がある。
- 複数回答設問では、当該設問に回答すべき回答者数を母数として選択肢ごとにそれぞれ構成比を求めている。そのため、構成比率の合計は通常 100.0%とならない。

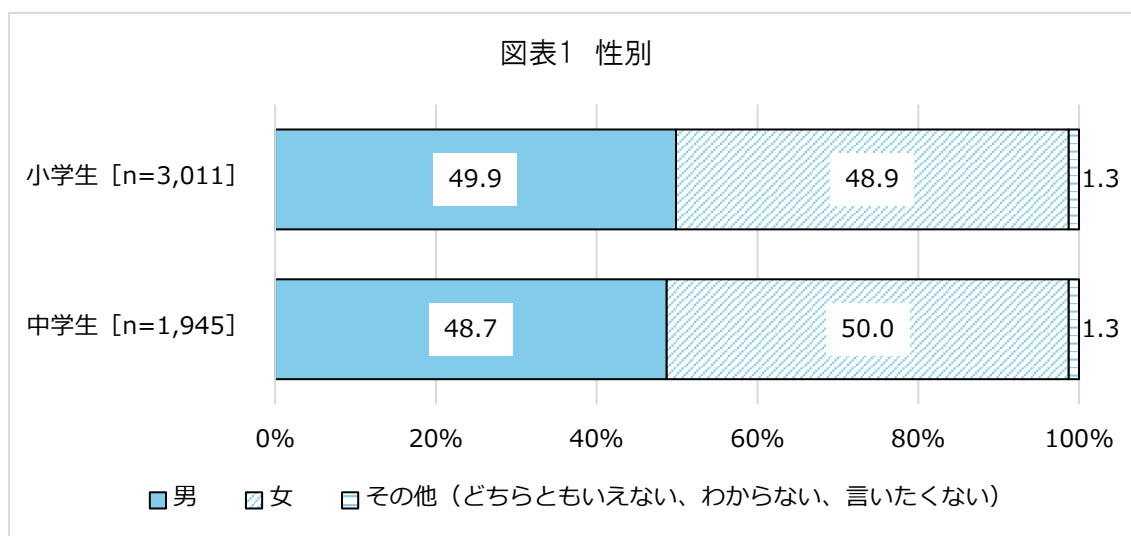
2. 小・中学生調査

(1) 基本情報

① 性別

小学生では、「男」が49.9%、「女」が48.9%、「その他（どちらともいえない、わからない、言いたくない）」が1.3%となっている。

中学生では、「女」が50.0%、「男」が48.7%、「その他（どちらともいえない、わからない、言いたくない）」が1.3%となっている。

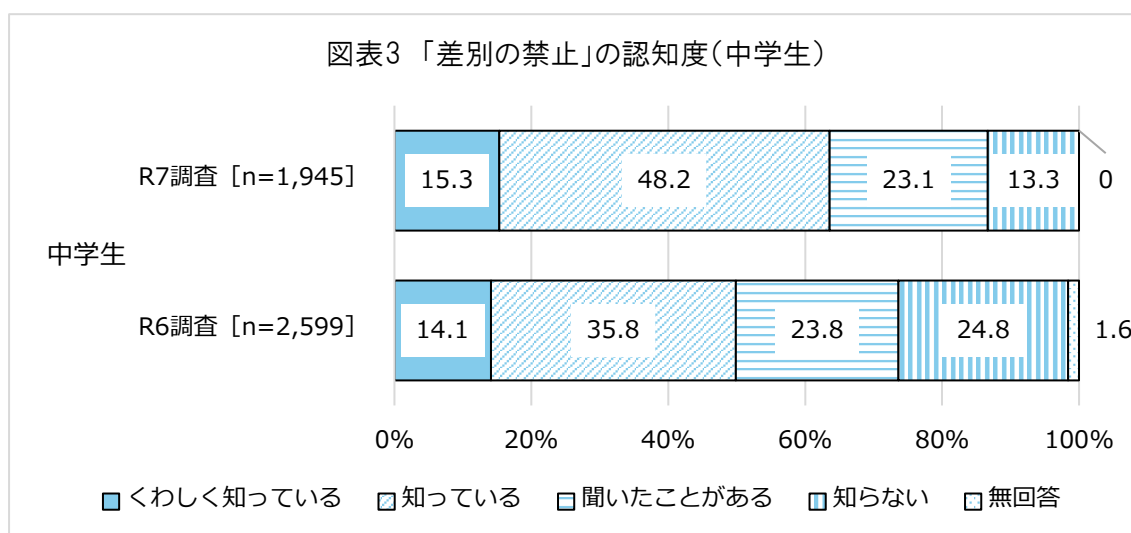
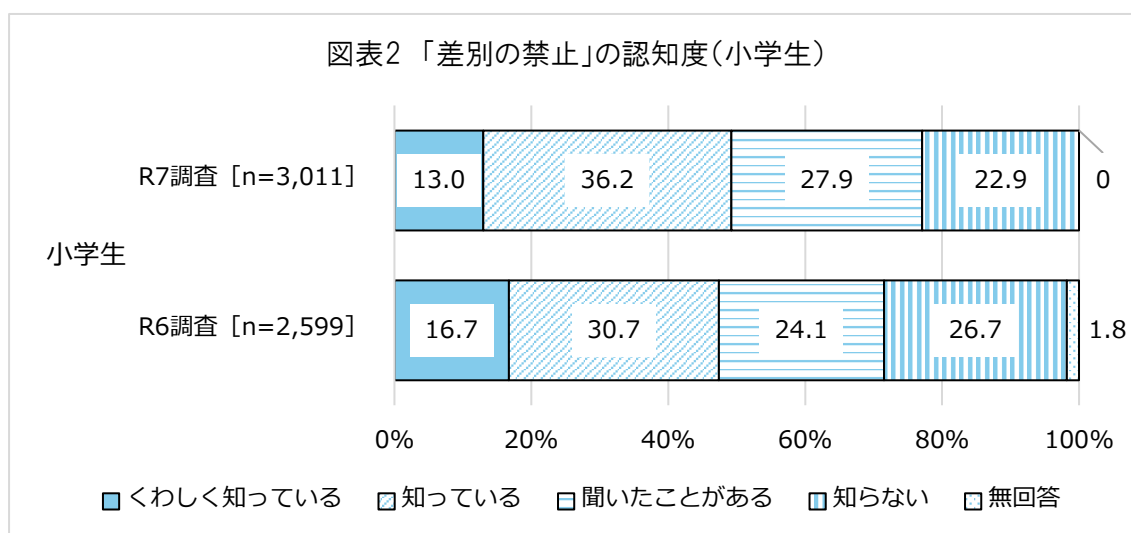


(2) こどもの権利

① こどもの権利の認知度

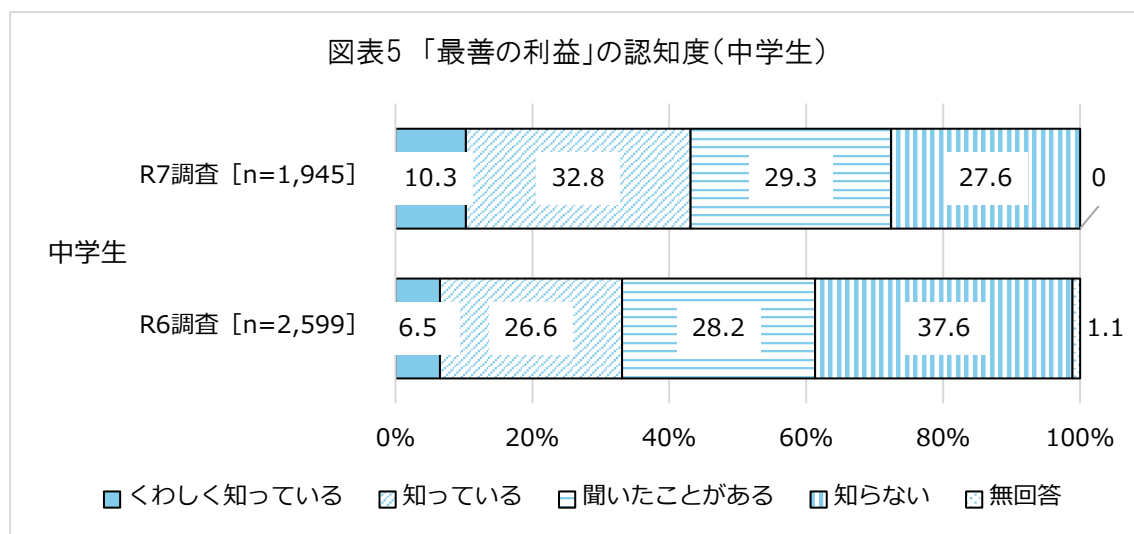
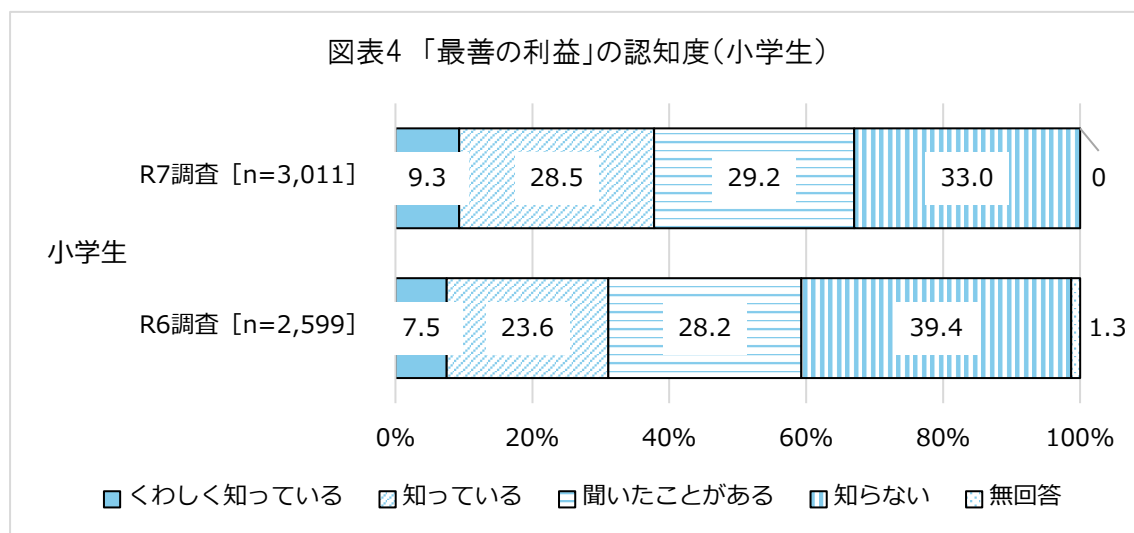
(ア) 「差別の禁止」の認知度

「すべてのこどもは、こども自身や親の人種や国籍、性、年齢、意見、障がい、経済状況などどんな理由でも差別されないこと」について、「くわしく知っている」+「知っている」と答えた小学生は49.2%であり、前回調査（R6調査）と比較して1.8ポイント増加している。また、「くわしく知っている」+「知っている」と答えた中学生は63.5%であり、前回調査（R6調査）と比較して13.6ポイント増加している。



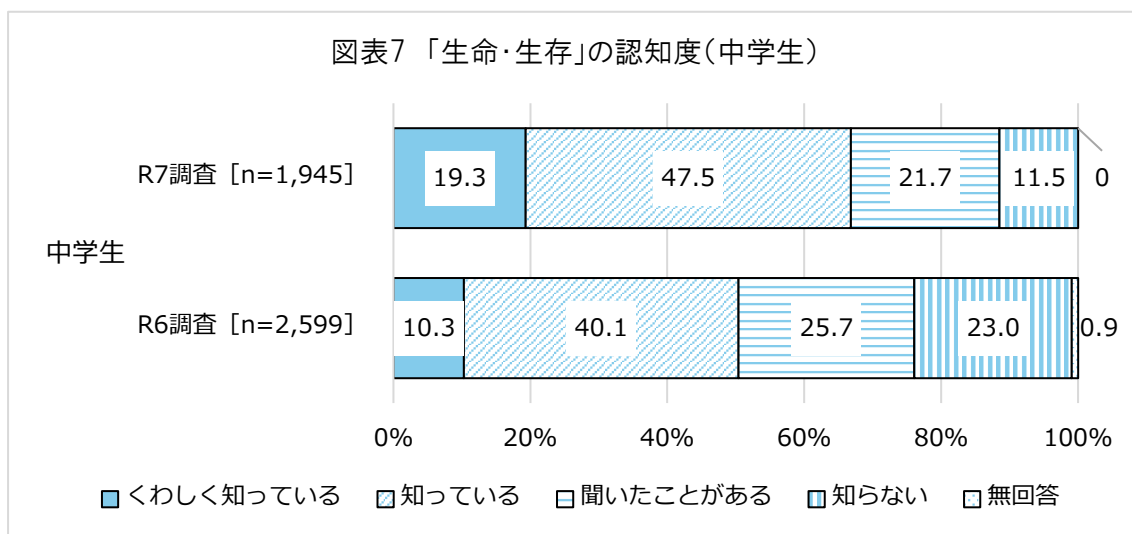
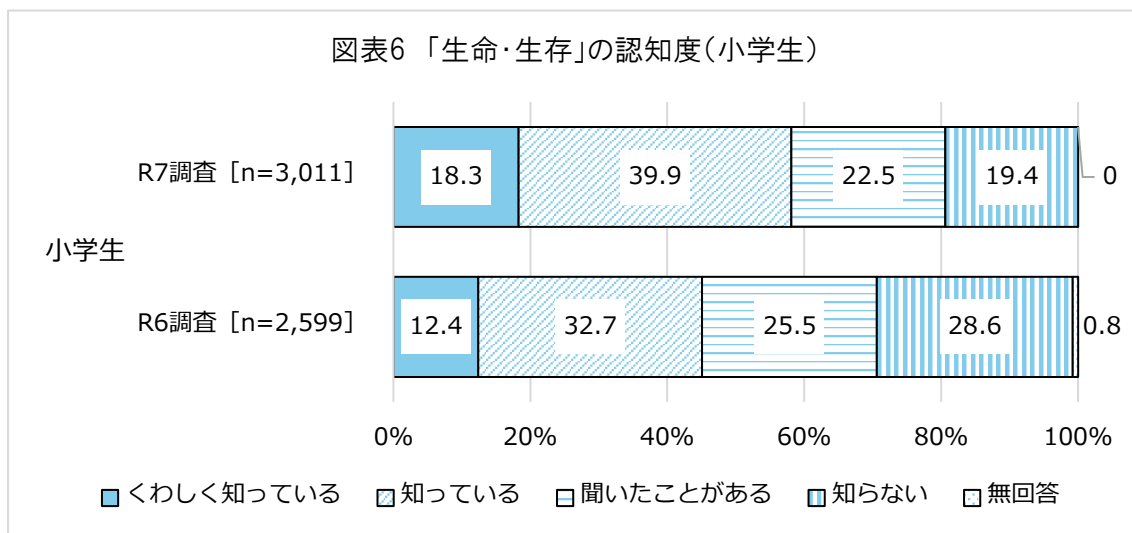
(イ)「最善の利益」の認知度

「こどもに関することが決められ、行われるときは「そのこどもにとって最もよいことはなにか」を第一に考えること」について、「くわしく知っている」+「知っている」と答えた小学生は37.8%であり、前回調査（R6調査）と比較して6.7ポイント増加している。また、「くわしく知っている」+「知っている」と答えた中学生は43.1%であり、前回調査（R6調査）と比較して10.0ポイント増加している。



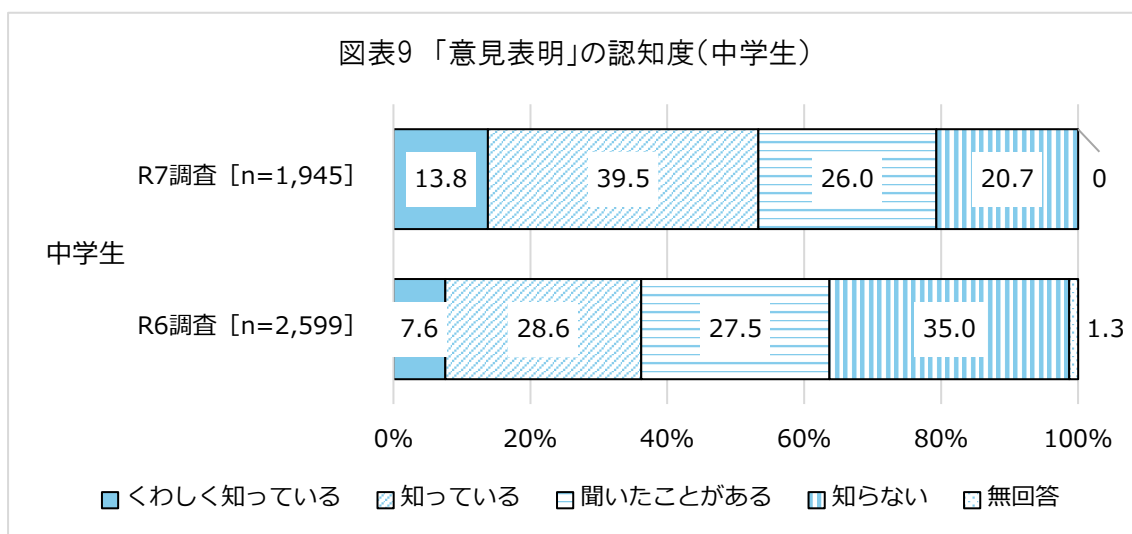
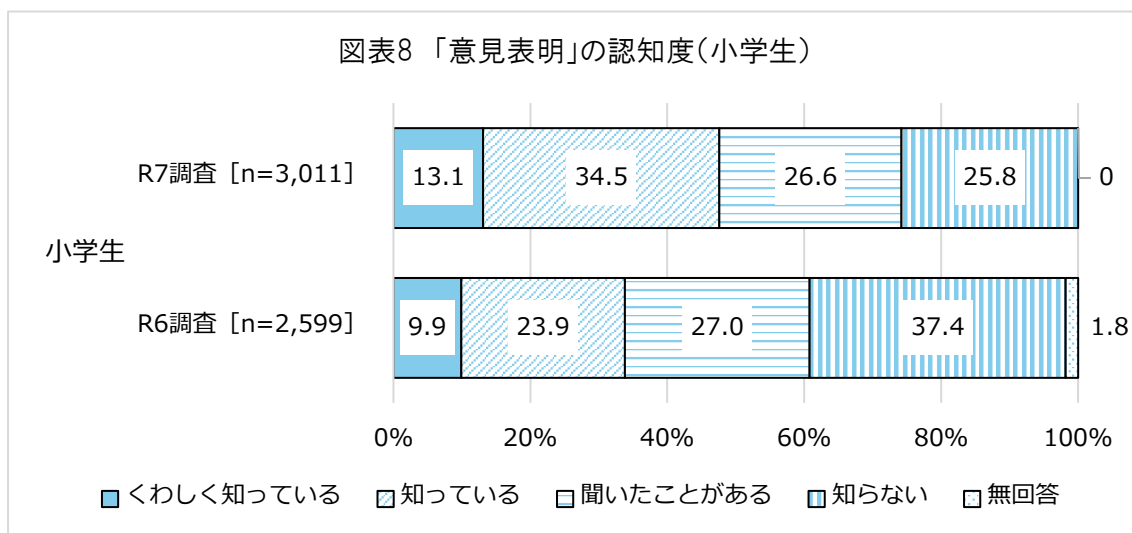
(ウ)「生命・生存」の認知度

「すべてのこどもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療・教育・生活への支援などを受けること」について、「くわしく知っている」＋「知っている」と答えた小学生は58.2%であり、前回調査（R6 調査）と比較して13.1ポイント増加している。また、「くわしく知っている」＋「知っている」と答えた中学生は66.8%であり、前回調査（R6 調査）と比較して16.4ポイント増加している。



(エ) 「意見表明」の認知度

「こどもは自分に関係あることについて自由に意見を表すことができ、おとなはその意見をこどもの発達に応じて十分に考慮すること」について、「くわしく知っている」+「知っている」と答えた小学生は47.6%であり、前回調査（R6 調査）と比較して13.8ポイント増加している。また、「くわしく知っている」+「知っている」と答えた中学生は53.3%であり、前回調査（R6 調査）と比較して17.1ポイント増加している。

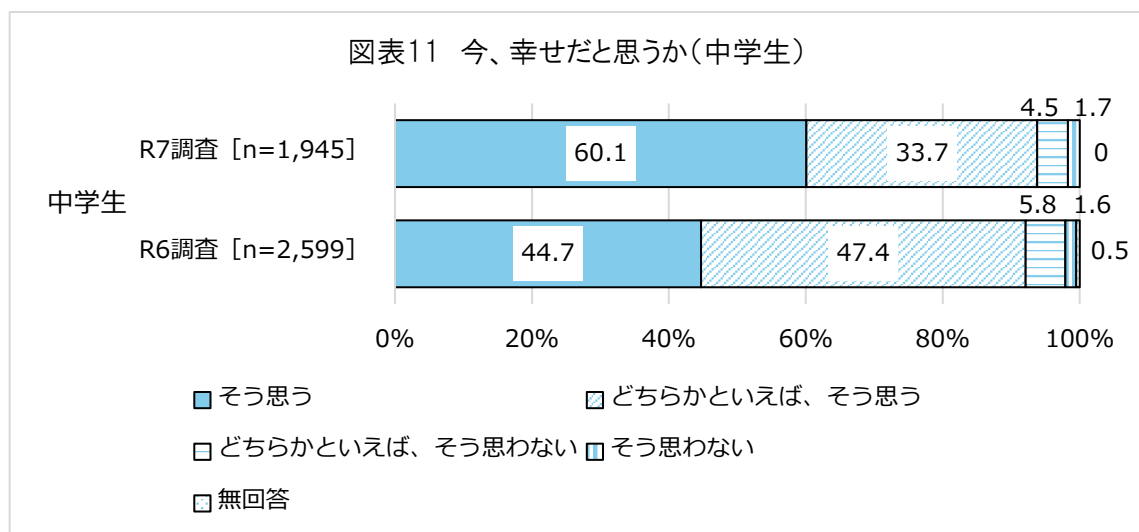
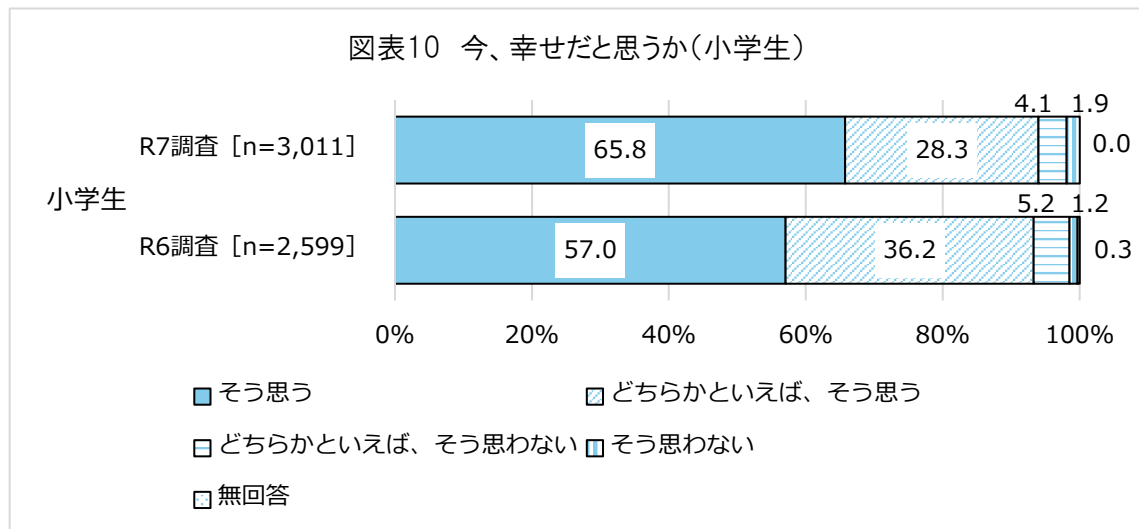


(3) 成果指標関係

① 今、幸せだと思うか

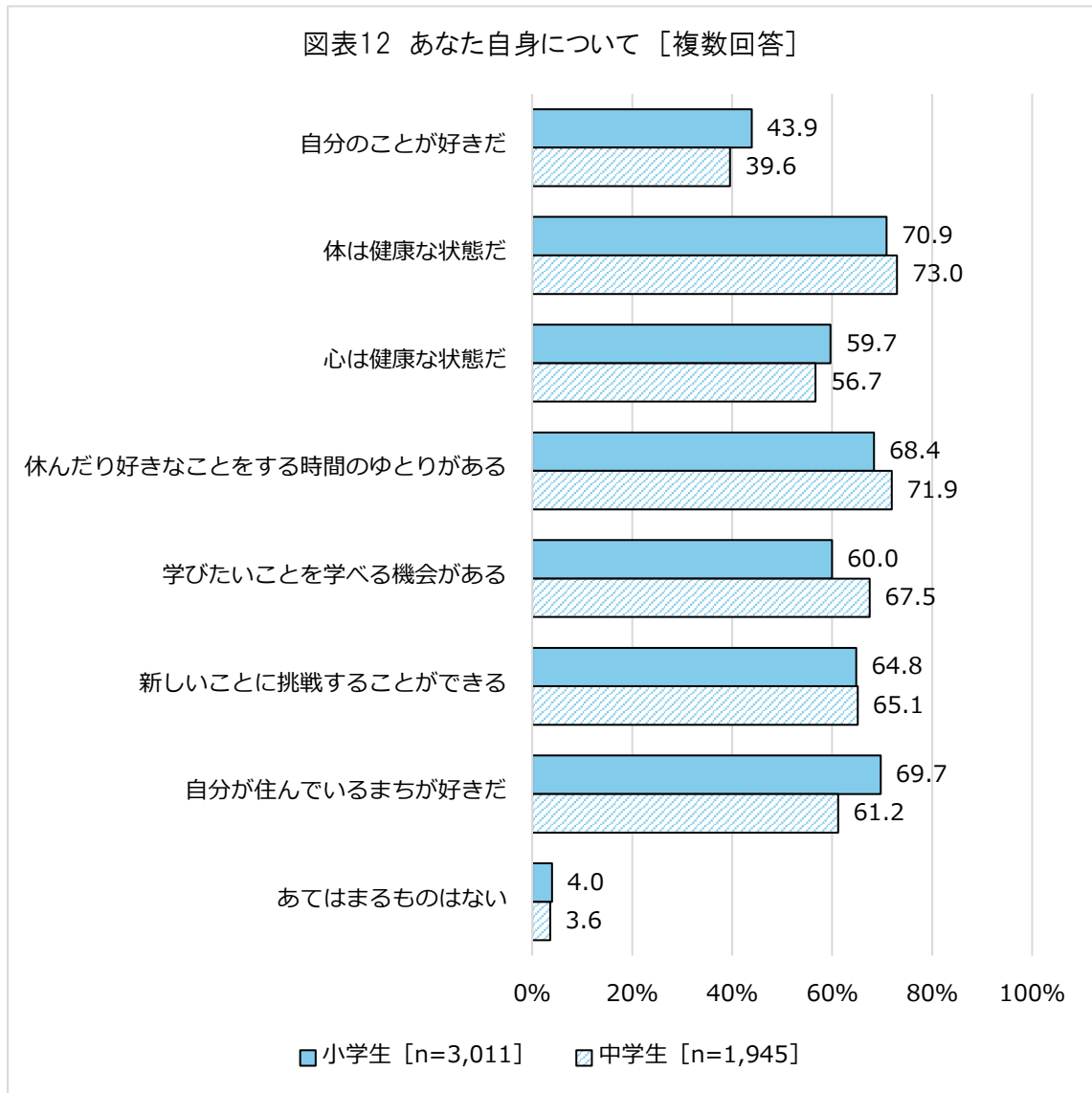
今、幸せだと思うかについて、小学生・中学生ともに、幸せだと思う（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）は、前回調査（R6 調査）同様、9 割を超えている。

一方で、小学生、中学生ともに、幸せだと思わない（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）が、6 %程度となっている。



② あなた自身について

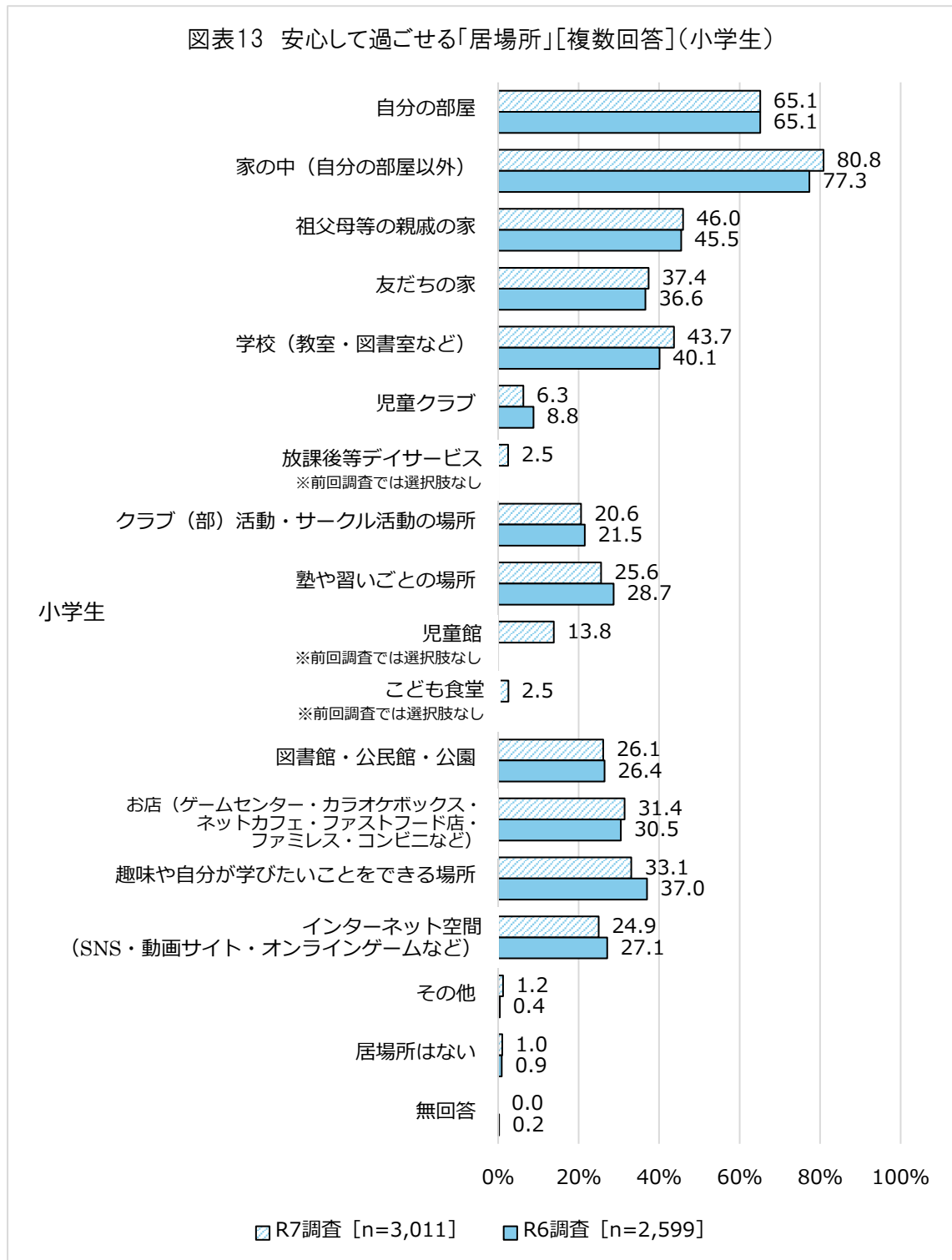
あなた自身については、小学生では、「体は健康な状態だ」が70.9%、「自分が住んでいるまちが好きだ」が69.7%、「休んだり好きなことをする時間のゆとりがある」が68.4%となっている。中学生では、「体は健康な状態だ」が73.0%、「休んだり好きなことをする時間のゆとりがある」が71.9%、「学びたいことを学べる機会がある」が67.5%となっている。



③ 安心してすごせる「居場所」

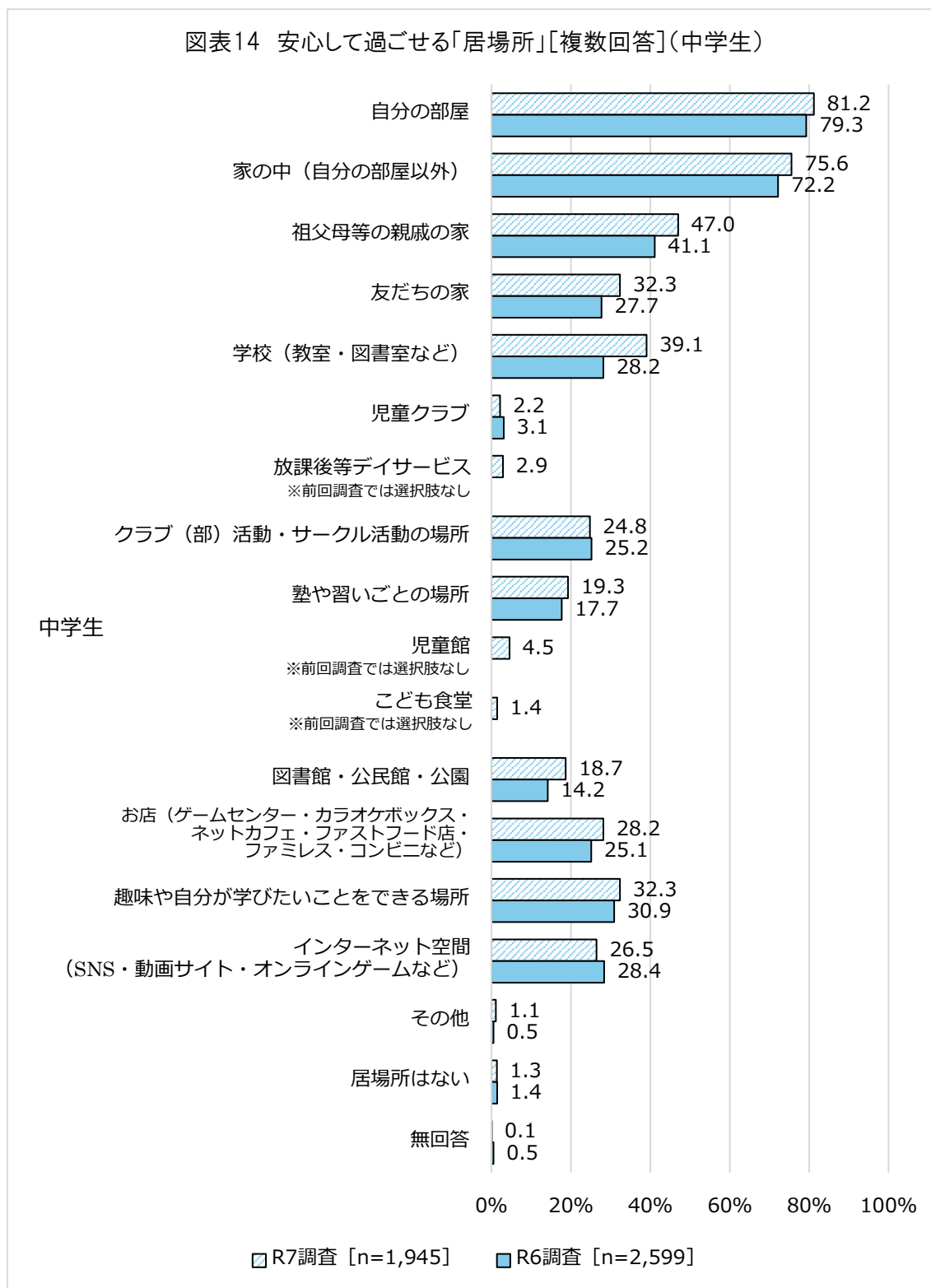
小学生が安心してすごせる「居場所」は、「家の中（自分の部屋以外）」が80.8%、「自分の部屋」が65.1%、「祖父母等の親戚の家」が46.0%となっている。

前回調査（R6 調査）と比べると、「学校（教室・図書館など）」「家の中（自分の部屋以外）」で3ポイント以上高くなっている。



中学生が安心してすごせる居場所は、「自分の部屋」が81.2%、「家の中（自分の部屋以外）」が75.6%、「祖父母等の親戚の家」が47.0%となっている。

前回調査（R6 調査）と比べると、「学校（教室・図書館など）」「祖父母等の親戚の家」などで3ポイント以上高くなっている。



④ ほしい「居場所」

「どのような居場所があれば良いと思いますか。」の質問に対して、合計 2,465 件の意見が寄せられた。内容を分類すると、「1.目的がある居場所」が 550 件、「2.目的を指定していない居場所」が 1,371 件、「3.その他」が 544 件であり、一部意見を抜粋して掲載している。

項目		件数
1.目的がある居場所	図書館・公民館・児童館・公園など	115
	児童クラブ	2
	商業施設	99
	勉強・自習・宿題・読書などができる	56
	運動・スポーツができる	43
	好きなこと・趣味・特技	157
	色んなことを教えてくれる	9
	相談・悩みを聞いてくれる	57
	インターネット・Wi-fi がある	12
2.目的を指定していない居場所	友達や家族みんなと過ごせる	199
	1 人になれる	139
	こどもだけで過ごせる	24
	楽しい・幸せ	157
	安心安全・リラックス・休憩	685
	自由に過ごせる	41
	静かに過ごせる	89
	いじめのない・平等	37
3.その他	自分の家や部屋・親戚の家	80
	学校	14
	その他	450
合計		2,465

主な意見

1.目的がある居場所

1	ボール遊びができるところ
2	野球やサッカーのできるとても広い公園
3	児童館が近くにほしい
4	こどもでも遊べるゲームセンター、カラオケボックス、漫画喫茶、ドッグカフェ
5	明るい気持ちで勉強や読書ができるところ
6	自分の好きなことがいっぱいできる居場所
7	もっと気軽に悩みについて相談できる居場所
8	みんなが自由に使えてインターネット環境が整った場所

2.目的を指定していない居場所

1	家族やいとこなどみんなと一緒に過ごせる
2	みんなで楽しく話したり、遊んだりする場所
3	みんなが笑顔でいられるところ
4	一人で安心して過ごせる場所
5	こどもだけで活動できる場所
6	落ち着いたり、安心できるところ
7	静かな場所・のびのびできる場所
8	差別やいじめなどが起きない場所

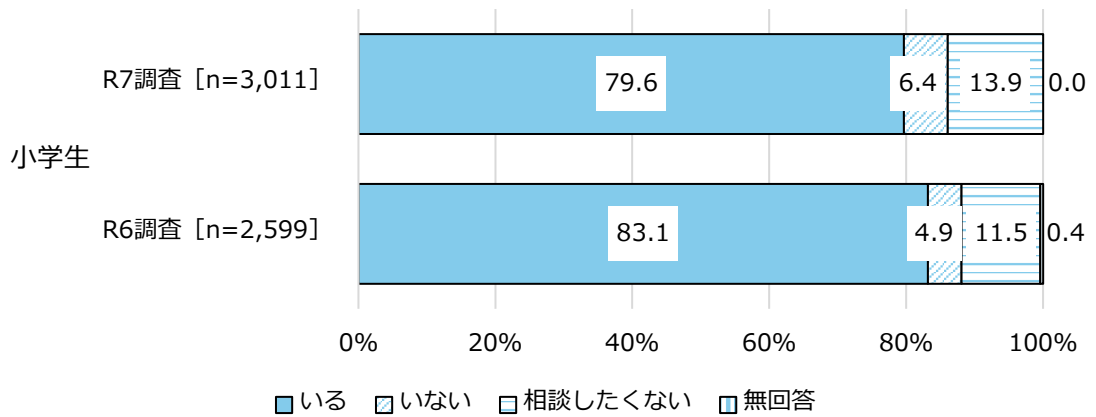
3.その他

1	欲しいものが、なんでもある自分だけの部屋
2	自分らしくいられる場所
3	自分のことを分かってくれる人がいる居場所
4	いろいろな人と関わることができる場所
5	思いっきり遊べる場所
6	自然がたくさんあるところ
7	何でもできる場所
8	集中して様々なことに打ち込める場所

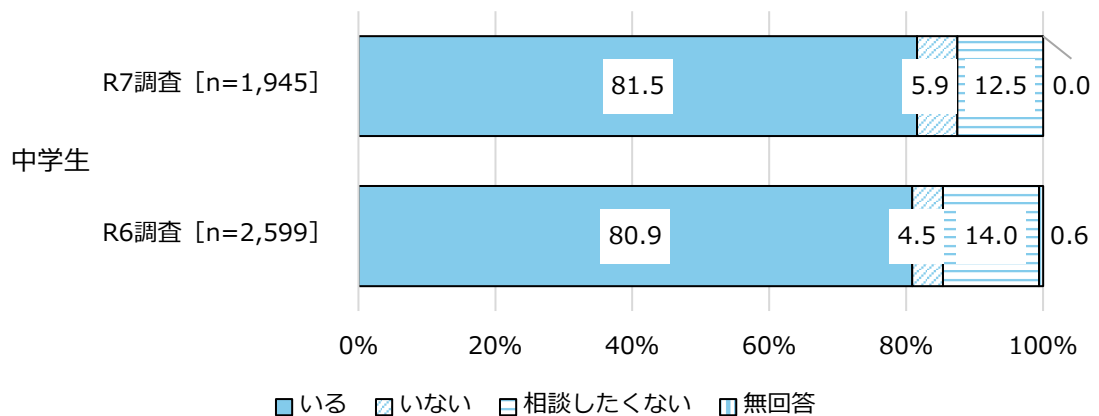
⑤ 困ったときに相談したり、なやみを話せる人の有無

困ったときに相談したり、なやみを話せる人については、小学生、中学生ともに、「いる」が8割程度となっている。一方で、小学生では、「相談したくない」が13.9%、「いない」が6.4%、中学生では、「相談したくない」が12.5%、「いない」が5.9%となっている。

図表15 困ったときに相談したり、なやみを話せる人の有無(小学生)



図表16 困ったときに相談したり、なやみを話せる人の有無(中学生)

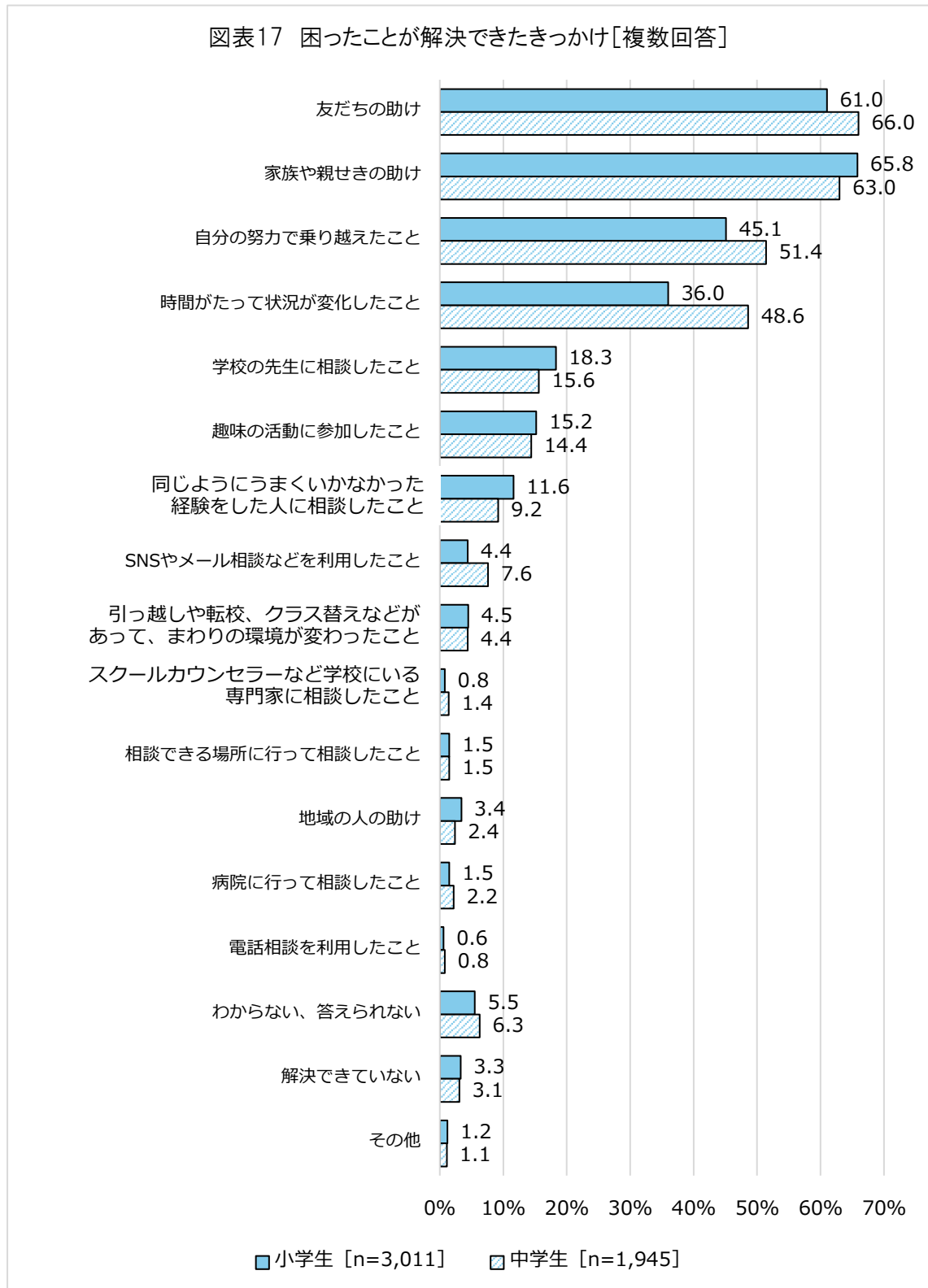


⑥ 困ったことが解決できたきっかけ

困ったことが解決できたきっかけについては、小学生では、「家族や親せきの助け」が65.8%、「友だちの助け」が61.0%、「自分の努力で乗り越えたこと」が45.1%となっている。

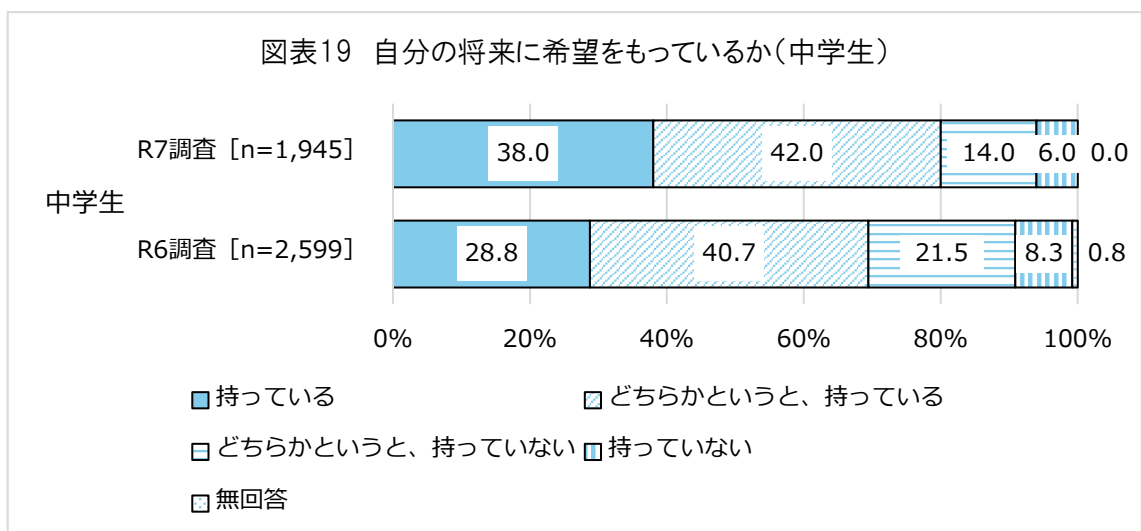
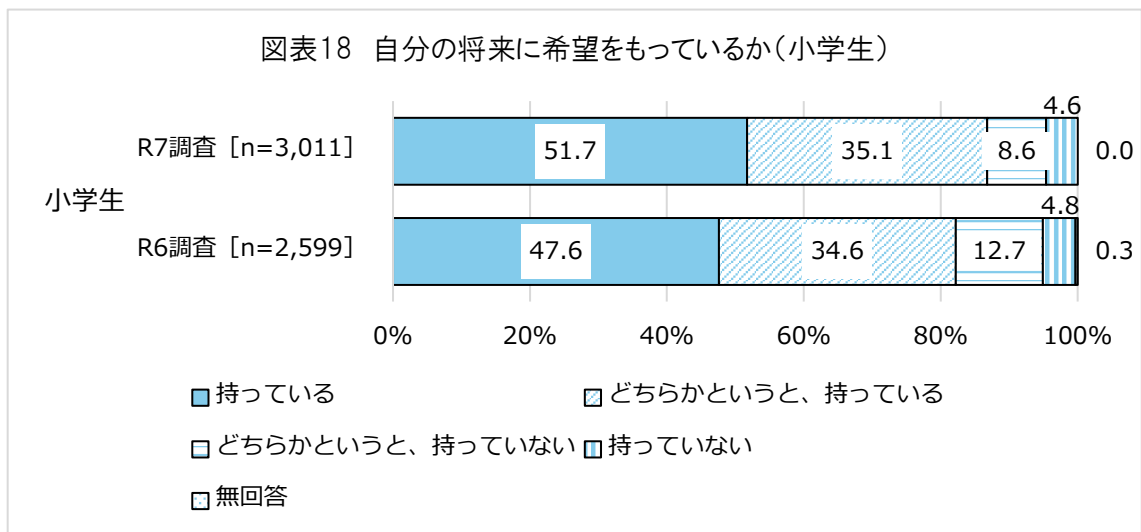
中学生では、「友だちの助け」が66.0%、「家族や親せきの助け」が63.0%、「自分の努力で乗り越えたこと」が51.4%となっている。

小学生では、「家族や親せきの助け」「学校の先生に相談したこと」が中学生に比べ高く、中学生では、「時間がたって状況が変化したこと」「自分の努力で乗り越えたこと」が小学生に比べ高くなっている。



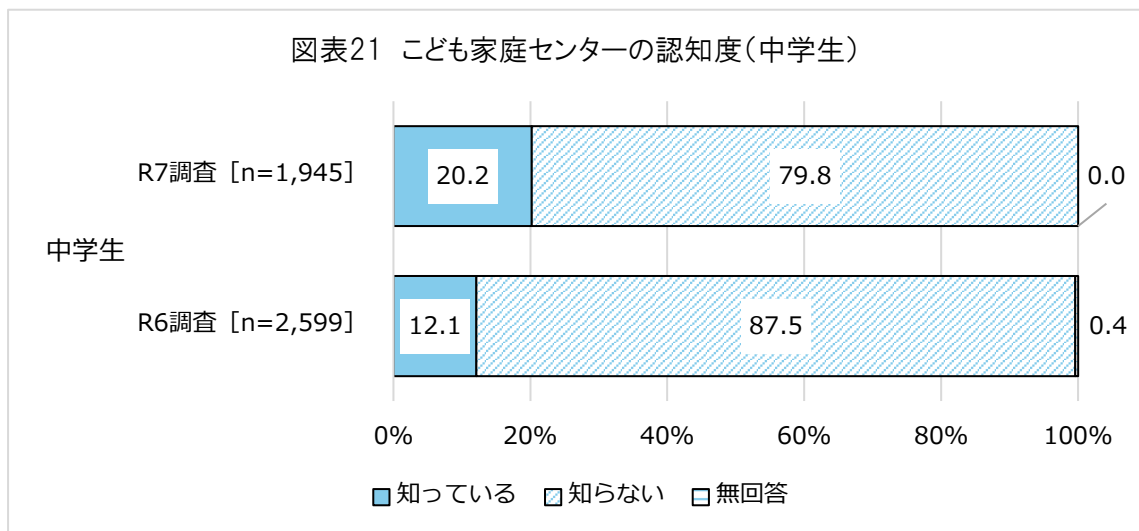
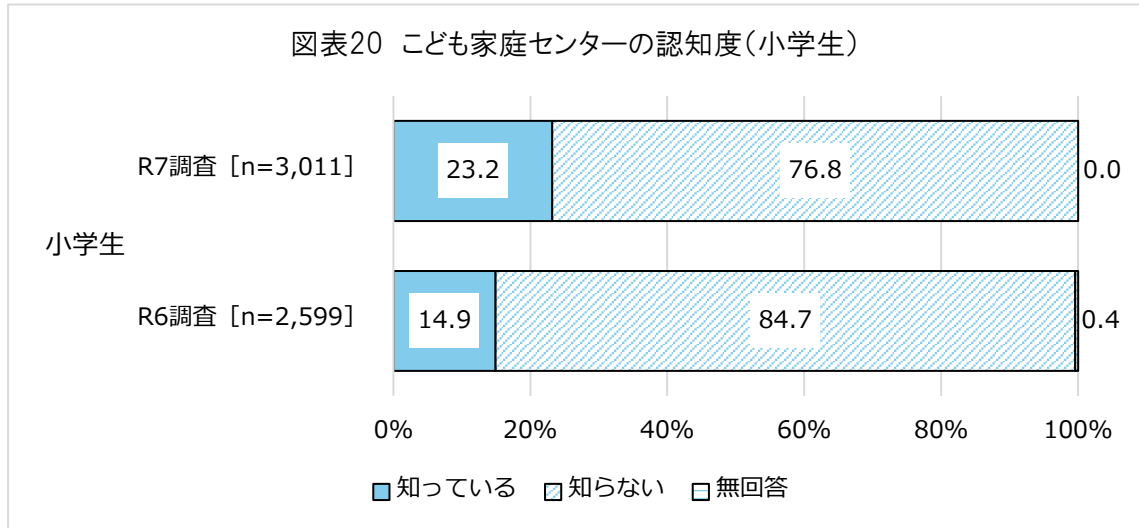
⑦ 自分の将来に希望を持っているか

自分の将来に希望をもっているかについて、小学生、中学生ともに、「持っている」+「どちらかというと、持っている」が8割を超えている。また、小学生が、中学生に比べて、「持っている」+「どちらかというと、持っている」の割合が高くなっている。



⑧ 「こども家庭センター」の認知度

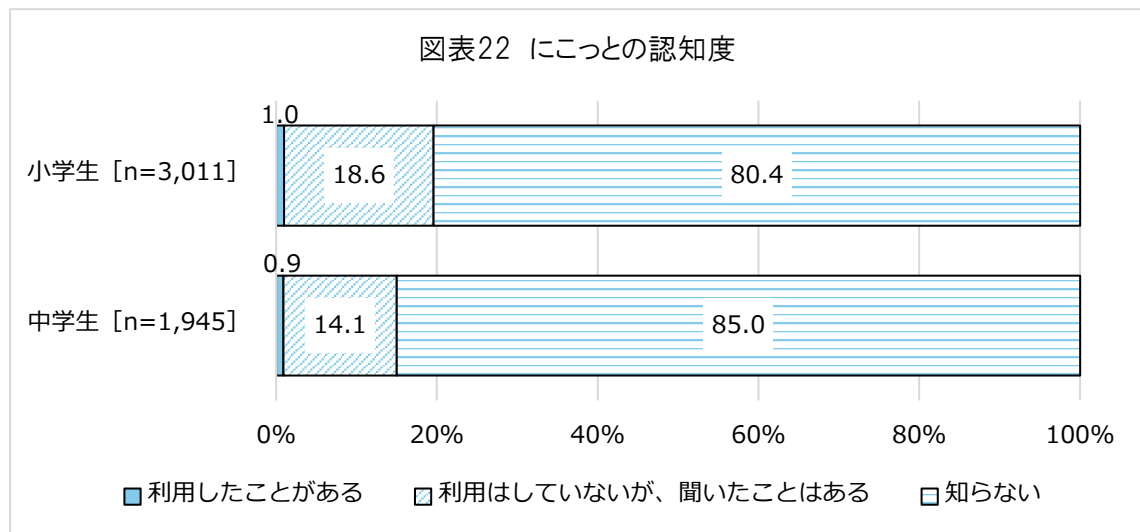
「こども家庭センター」については、小学生では「知っている」が23.2%、中学生では「知っている」が20.2%となっている。前回調査（R6 調査）と比べると、小学生では8.3ポイント、中学生では8.1ポイント高くなっている。



(4) こども施策関係

① 「にこっと」の認知度

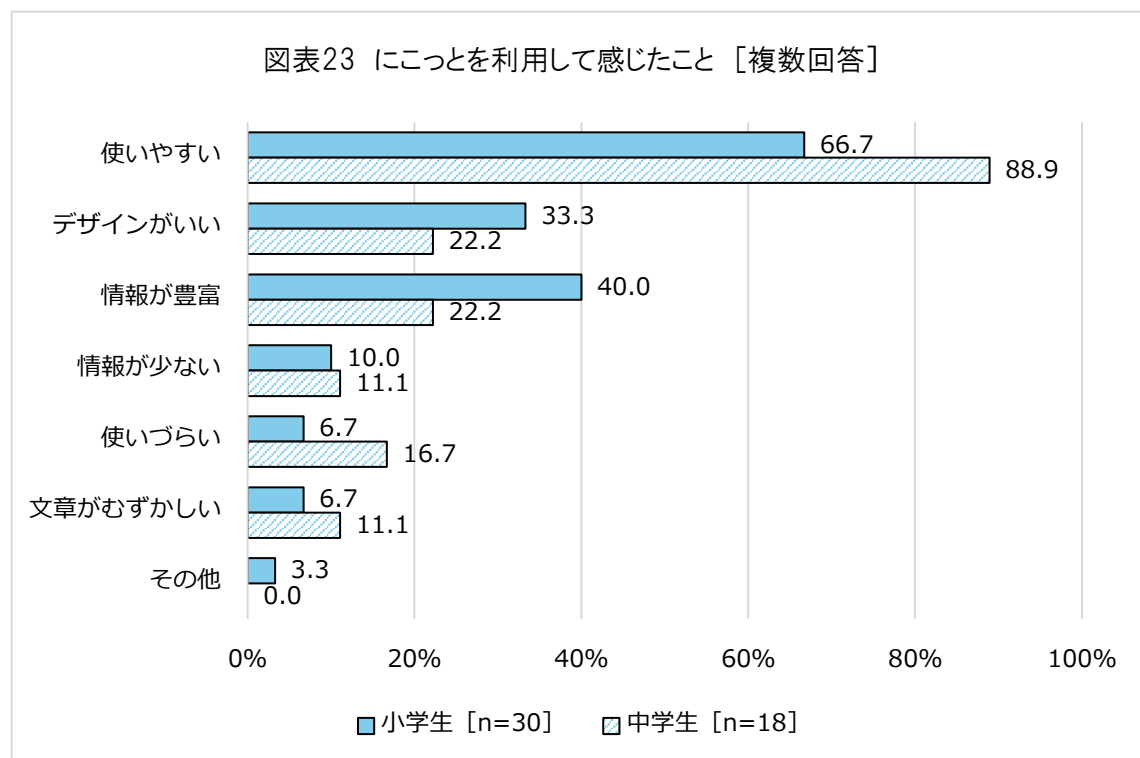
「にこっと」については、「利用したことがある」+「利用はしていないが、聞いたことはある」と答えた小学生は19.6%、中学生が15.0%となっている。



(4) ①で、「利用したことがある」と回答した方

② 「にこっと」を利用して感じたこと

「にこっと」を利用して感じたことについては、小学生は「使いやすい」が66.7%、「情報が豊富」が40.0%、「デザインがいい」が33.3%となっている。中学生は「使いやすい」が88.9%、「デザインがいい」「情報が豊富」が22.2%となっている。



③ 周りの大人へ言いたいこと

周りの大人に言いたいことについて、合計 785 件の意見が寄せられた。

内容を分類すると、「1.学校生活」が 134 件、「2.遊び場の充実」が 58 件、「3.悩みや不安」が 53 件、「4.地域活性化・まちづくり」が 43 件、「5.行政への意見・要望」が 42 件、「6.家族への要望」が 98 件、「7.居場所や自由な時間の充実」が 57 件、「8.こどもの意見尊重」が 12 件、「1～8 以外の意見」が 288 件であり、一部意見を抜粋して掲載している。

項目		件数
1.学校生活	先生の対応や先生への意見・要望	31
	授業について	8
	宿題や課題の負担	18
	時間割や休み時間について	9
	校則について	6
	給食について	2
	施設環境について	13
	その他	47
2.遊び場の充実	公園やボール遊び、 スポーツができる場所の充実	30
	児童館等屋内で遊べる施設の充実	12
	楽しく遊べる場所等遊び場全般	16
3.悩みや不安	人間関係について	17
	勉強について	5
	性に関すること	2
	自分自身に関すること	8
	その他	21
4.地域活性化・まちづくり	安全安心なまちづくり	12
	遊園地、娯楽施設の充実	4
	イベントや祭りの充実	8
	公共施設の整備、充実	8
	その他	11
5.行政への意見・要望	施設等の整備	7
	金銭的サポート	5
	平等、いじめのないまちづくり	16
	その他	14
6.家族への要望	こどもへの対応 (優しくしてほしい、怒らないでほしい等)	39
	家族と一緒に過ごす時間の充実	11
	お小遣い、物品の要望	12
	その他	36

項目		件数
7.居場所や自由な時間の充実	居場所の充実	31
	自由な時間、遊び時間の充実	26
8.こどもの意見尊重		12
9. 上記 1～8 以外の意見	家族や先生、周囲の大人への感謝	82
	将来について	3
	支援が必要なこども、人へのサポートについて	4
	休みたい	6
	習い事、塾について	4
	部活について	7
	その他周囲の大人への意見、要望	92
	その他	90
合計		785

主な意見

1. 学校生活

1	授業で聞いた大事な言葉をどのようにしたらすぐ覚えられるか聞きたい。
2	いじめをなくす勉強をちょっとでもいいからやってほしい
3	宿題減らしてほしい。
4	給食いつもおいしいです
5	学校に自習室が欲しい
6	体育館にエアコンをつけてほしい
7	もっと、楽しめるイベントを学校行事で増やしてもらいたいです。

2. 遊び場の充実

1	公園の遊具を増やしてほしい。
2	色んなスポーツができる広いところがほしい
3	自分の地区に児童館などのこどもから大人までたくさんの世代が交流できる場所を作って欲しい。
4	夏でも涼しくて公園のように遊具や本がたくさんあるあそべる場所を作してほしい。
5	みんなで楽しめる場所がほしい
6	もっとたのしく遊べる場所を増やしてほしい

3. 悩みや不安

1	人間関係が難しいです。
2	ともだちともっとなかよくしたい
3	勉強が難しい
4	人の悩みにずかずか入ってこないでほしい。自分のタイミングで相談したいのに、無理やり聞いてこないでほしい。
5	もうちょいこどもが相談しやすいようにしてほしい。

4. 地域活性化・まちづくり

1	登校するとき、見守ってくださりありがとうございます。挨拶をする相手がいることや、交通に対しての安心感も持って登校することができます。
2	地域の人たちとたくさん接することができるようになりたい。
3	松山ですっと住み続けられるように、こどもが遊べる遊園地など、こどもが活躍できる場を増やしていただきたいです。
4	市民のこどもが、無料で遊ぶことのできるイベントをもっとたくさんやってほしい。
5	施設で、色んなお仕事体験が無料で自由にできる場所があるといいなと思います
6	みんなが安心して、使える場所や施設をたくさん作ってほしい。

5. 行政への意見・要望

1	静かに勉強ができる、図書館などが近くに欲しいです。
2	誰にでも優しい差別ない社会にしてほしいです。
3	いじめなどが起こらないように最善を尽くしてほしい。優しさを忘れないでほしい。
4	「にこっと」など、情報サイトをもっといろんな人に知ってもらえるようにCMとかポスターを作ればいいと思います。
5	こどもも選挙権を持ちたいし政治のことをもっと詳しく教えてほしい。政治のことを教えてくれないと未来が不安だし、ネットの世界でしか情報を知ることができなくなる。

6. 家族への要望

1	家族にしてほしいこと「一緒にゲームをしてほしいです！！」
2	理由も聞かずに理不尽に怒らないでほしい。
3	家族にもっと寄り添ってほしい
4	私がやりたいと言ったことをはなから拒否するんじゃなくて、それについて調べてみたり、「一旦やってみる？」みたいに、前向きな検討を出来るだけしてほしいです。
5	こどもの意見も聞かずに決めつけで怒らないでほしい。頑張っているのに「意味のないこと」「続けてもしょうがない」などといわないでほしい。
6	家族でもっと旅行やプールなどに行きたい。
7	家族と一緒に過ごせる時間を増やしてほしい。
8	お小遣いを増やしてほしい

7. 居場所や自由な時間の充実

1	安心して過ごせる場所を作してほしい
2	こどもが一人一人自由に楽しめる場所がほしいです。
3	友だちと遊ぶ時間増やして
4	自分の好きなことができる時間がもっと欲しい
5	一人の場所、時間が欲しい。ゆっくり考えさせてほしい。静かな場所が欲しい。

8. こどもの意見尊重

1	もっとこどもの意見も聞いてほしい。
2	もっと自分の意見を言えるようになりたい。意見を聞いてほしい。
3	こどもの表現力を受け入れて伸ばしてほしい。
4	もっとこどもの一人一人の人権や感情、意見を尊重してほしい。こどもも大人と同じくらい責任やプレッシャー日々の疲れを感じていることを分かってほしい。

9. 上記 1～8 以外の意見

1	周りの家族や先生には、いつもすごく気を使ってくれて、本当に感謝しています。これからも、僕を見守っていてください。いつも本当にありがとうございます。
2	先生、いつも笑わせてくれたり、困ったとき助けてくれたりいつもありがとうございます。おかげで、毎日学校が楽しい！と思えました。
3	<p>お母さん、お父さんにひとつ言いたいこと</p> <p>いつも相談に乗ってくれてありがとう。今までお父さん、お母さんの言葉にたくさん救われてきました。気持ちがふわっと軽くなるし、良いアドバイスもくれるから本当に感謝しているけれど、ひとつだけ。ただただ、話を聞いてほしいだけの時もあるんです。そんな時は、何も言わず優しく傍に寄り添ってくれると嬉しいな。改めて、いつも本当にありがとう。これからもよろしくね。</p> <p>このような機会を設けて下さり、本当にありがとうございます。どうかこのアンケートを通して、こどもに関する素敵な取り組みが増えて、たくさんのこどもたちの笑顔が見られることを願っています。</p>
4	将来の夢に向かっていろいろやってみたい
5	困っている人がいたら、助けてあげてほしい。
6	聞かれたくないことがある子もいると思うから、何でもかんでも聞こうとするんじゃなくて、寄り添ってあげてほしい。
7	もっと休みの時間を増やし、自由な空間および時間が欲しいです。
8	無料の習い事を作ってほしい。
9	自分のことをやさしく受け止めてほしい
10	一人一人の価値や大切さをもっと深く考えてほしい。
11	もっと大人もちゃんと自分を大切にしてほしいです。

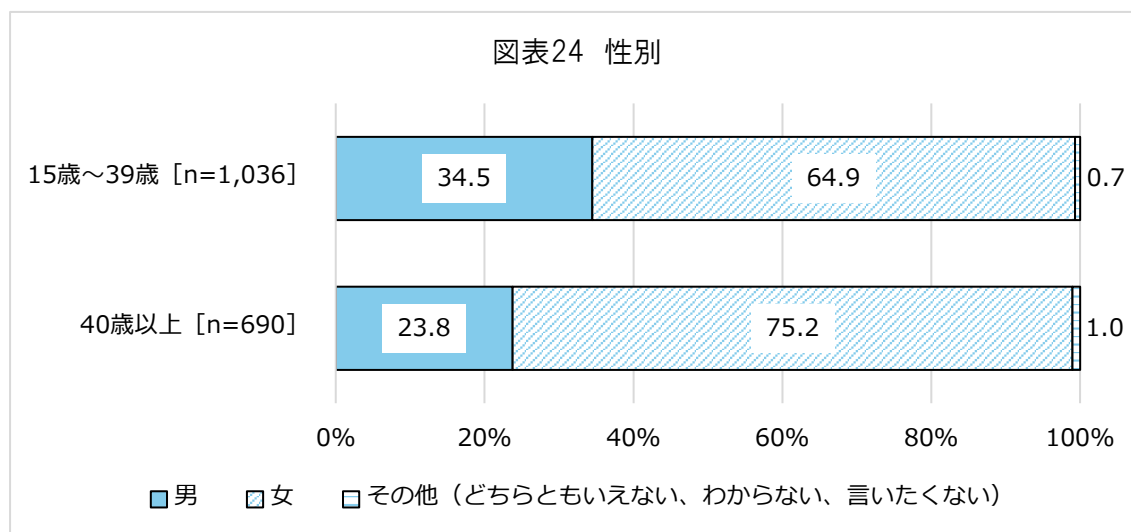
3. 高校生以上調査

(1) 基本情報

① 性別

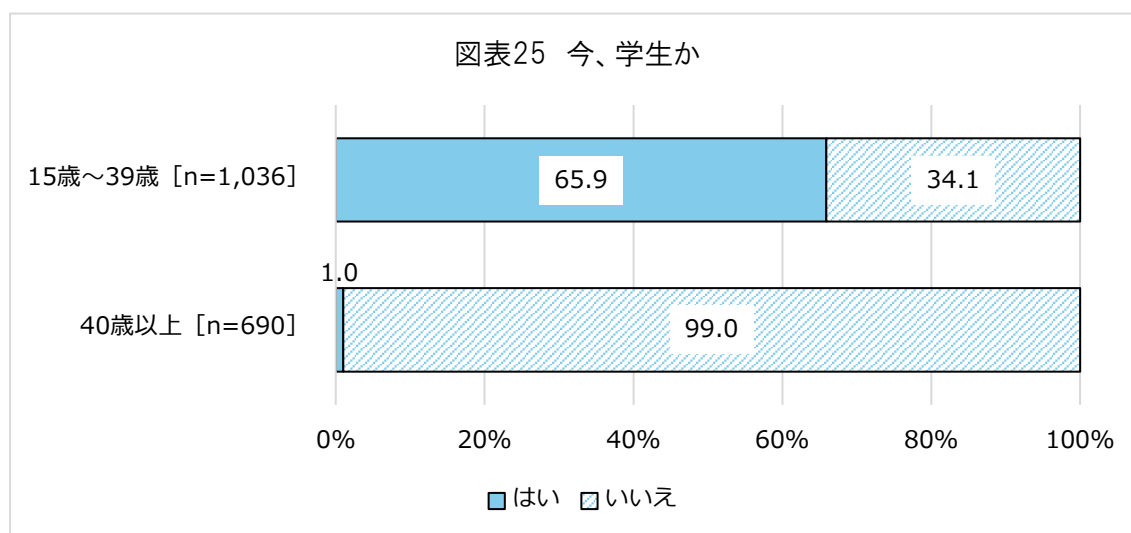
15歳～39歳では、「女」が64.9%、「男」が34.5%、「その他（どちらともいえない、わからない、言いたくない）」が0.7%となっている。

40歳以上では、「女」が75.2%、「男」が23.8%、「その他（どちらともいえない、わからない、言いたくない）」が1.0%となっている。



② 今、学生か

15歳～39歳では、「はい」が65.9%、「いいえ」が34.1%となっている。40歳以上では、「いいえ」が99.0%、「はい」が1.0%となっている。



(1) ②で、「利用したことがある」と回答した方

③ 在学学校種別

15 歳～39 歳で「高等学校」が 48.8%、40 歳以上で「専門学校」が 71.4%と最も高くなっている。

図表 26 在学学校種別

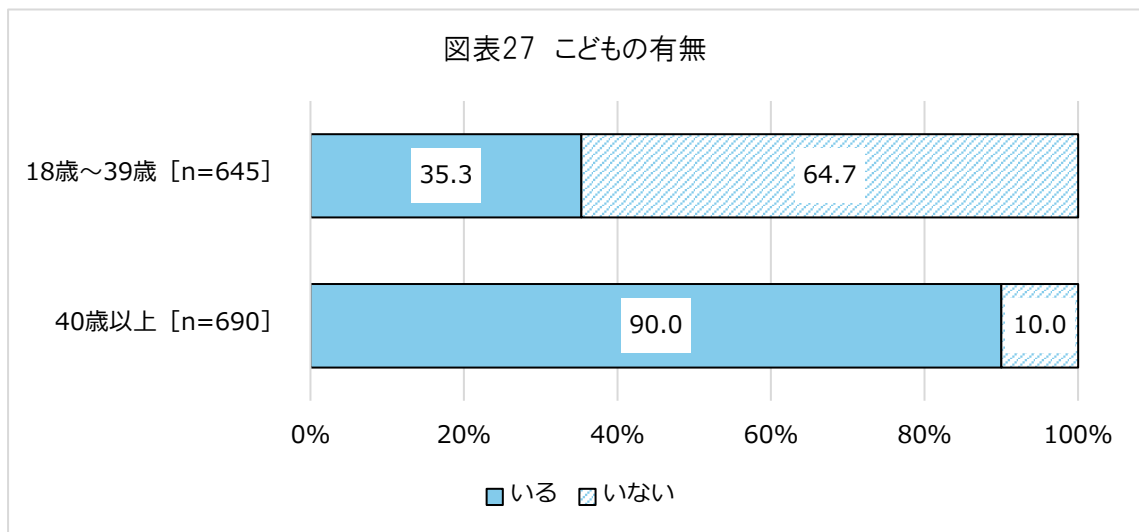
(単位：%)

	[n=]	高等学校	専門学校	特別支援 学校	短期大学・ 大学	大学院	フリー スクール	その他
15 歳～39 歳	683	48.8	38.9	0.0	1.6	0.0	0.1	10.5
40 歳以上	7	0.0	71.4	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0

④ こどもの有無【18 歳以上が回答】

18 歳～39 歳では、「いいえ」が 64.7%、「はい」が 35.3%となっている。40 歳以上では、「はい」が 90%、「いいえ」が 10.0%となっている。

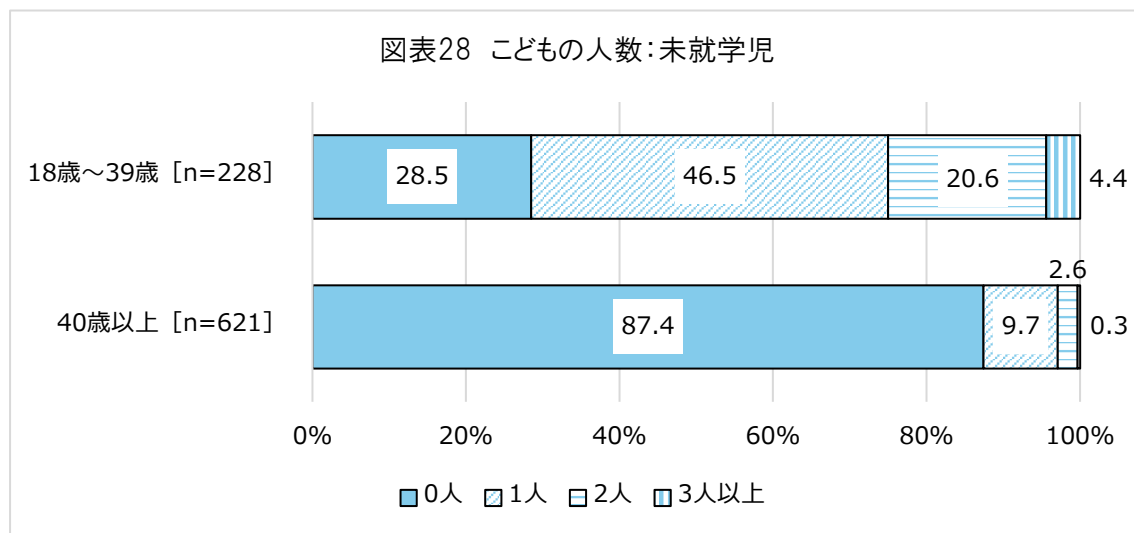
図表27 こどもの有無



(1) ④で、「いる」と回答した方

⑤ こどもの人数：未就学児

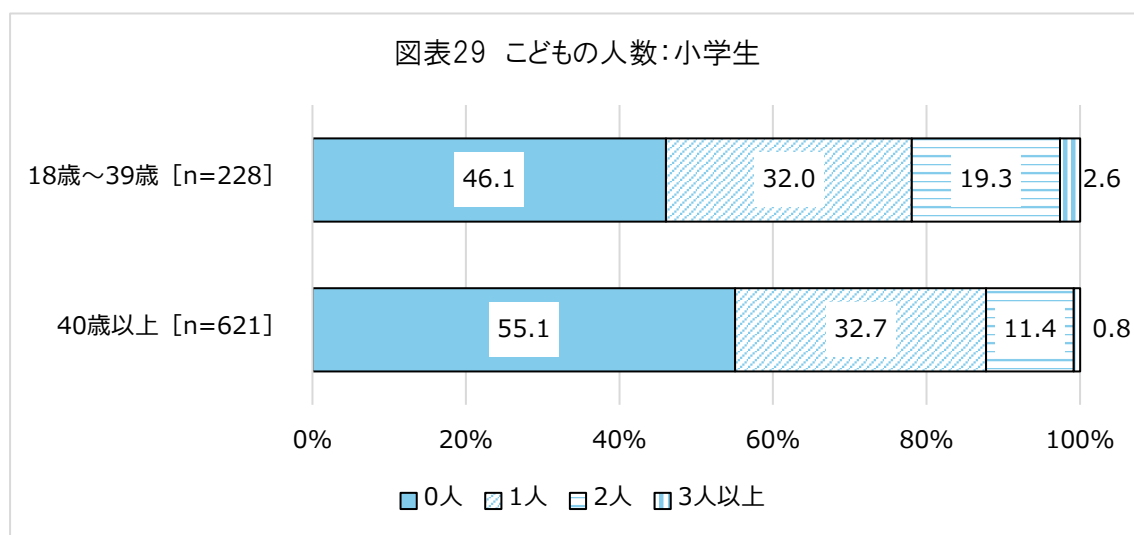
18歳～39歳では、「1人」が46.5%、「2人」が20.6%となっている。40歳以上では、「1人」が9.7%、「2人」が2.6%となっている。



(1) ④で、「いる」と回答した方

⑥ こどもの人数：小学生

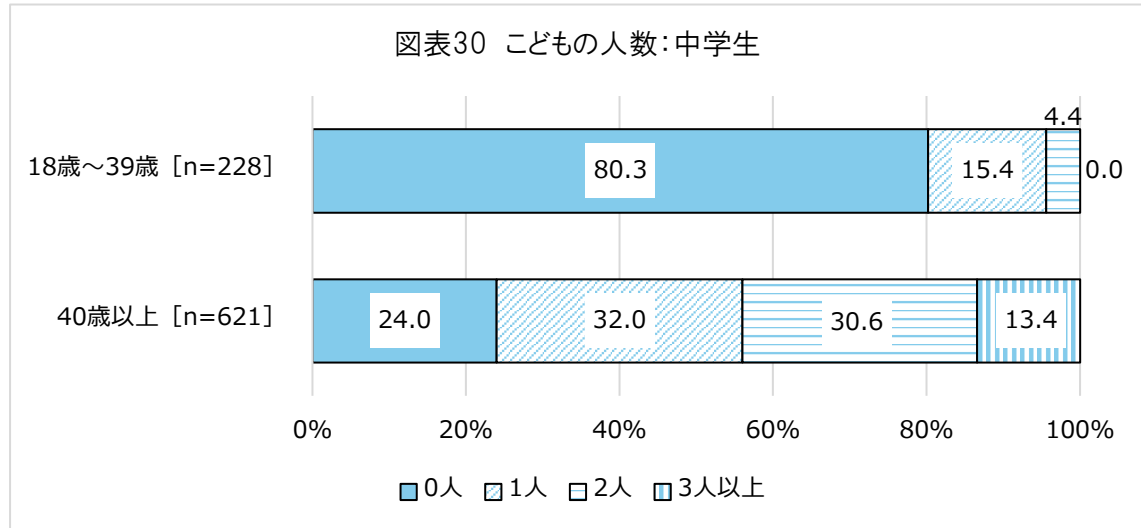
18歳～39歳では、「1人」が32.0%、「2人」が19.3%となっている。40歳以上では、「1人」が32.7%、「2人」が11.4%となっている。



(1) ④で、「いる」と回答した方

⑦ こどもの人数：中学生

18歳～39歳では、「1人」が15.4%、「2人」が4.4%となっている。40歳以上では、「1人」が32.1%、「2人」が30.6%となっている。



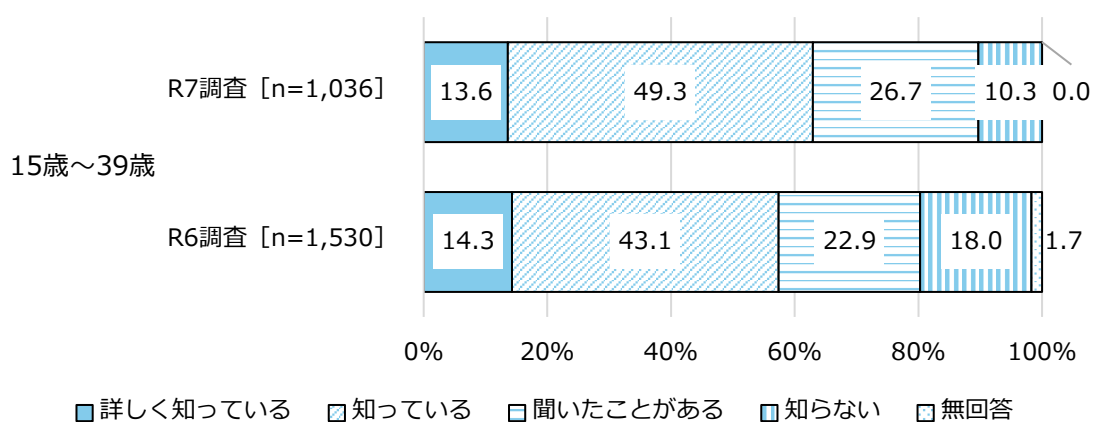
(2) こどもの権利

① こどもの権利の認知度

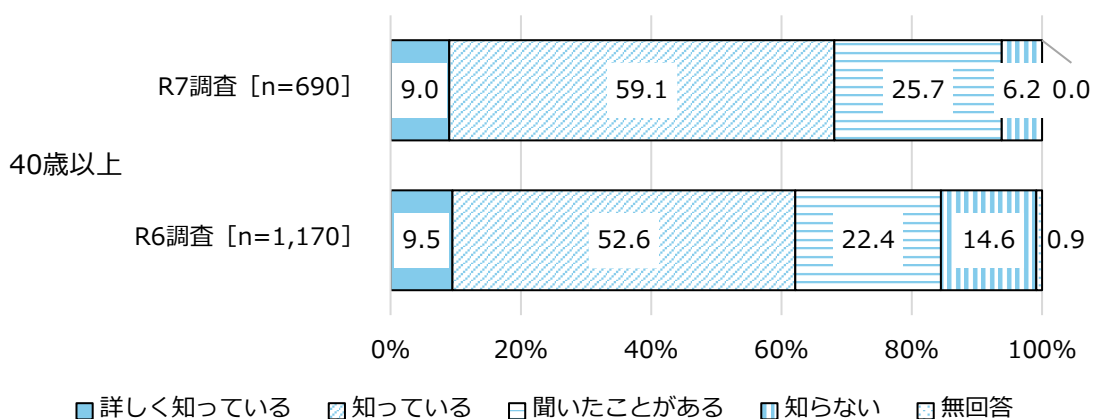
(ア) 「差別の禁止」の認知度

「すべてのこどもは、こども自身や親の人種や国籍、性、年齢、意見、障がい、経済状況などどんな理由でも差別されないこと」について、「詳しく知っている」+「知っている」と答えた15歳～39歳は62.9%であり、前回調査（R6調査）と比較して5.5ポイント増加している。また、「詳しく知っている」+「知っている」と答えた40歳以上は68.1%であり、前回調査（R6調査）と比較して6.0ポイント増加している。

図表31 「差別の禁止」の認知度(15歳～39歳)

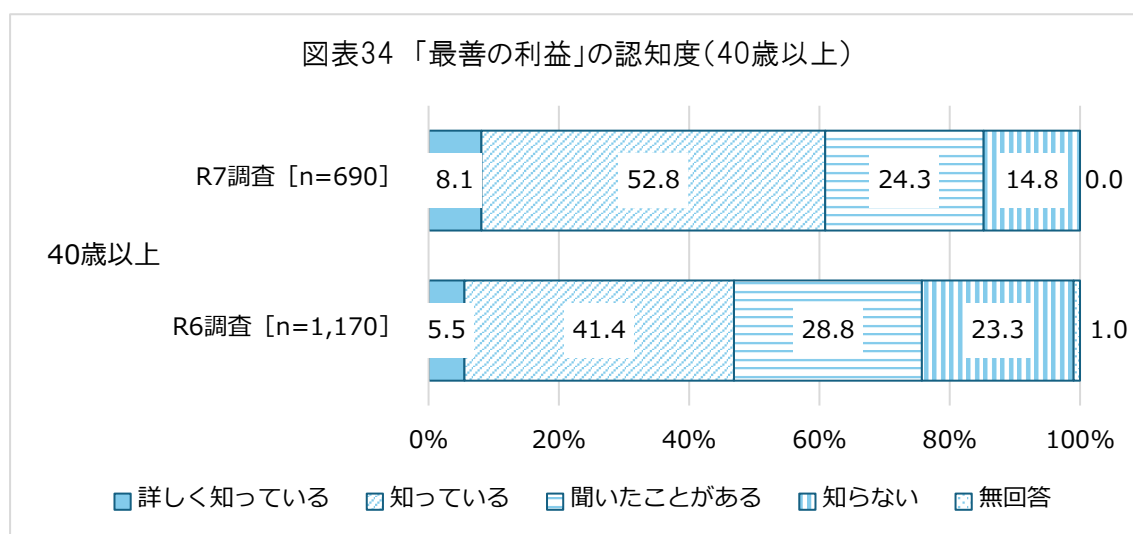
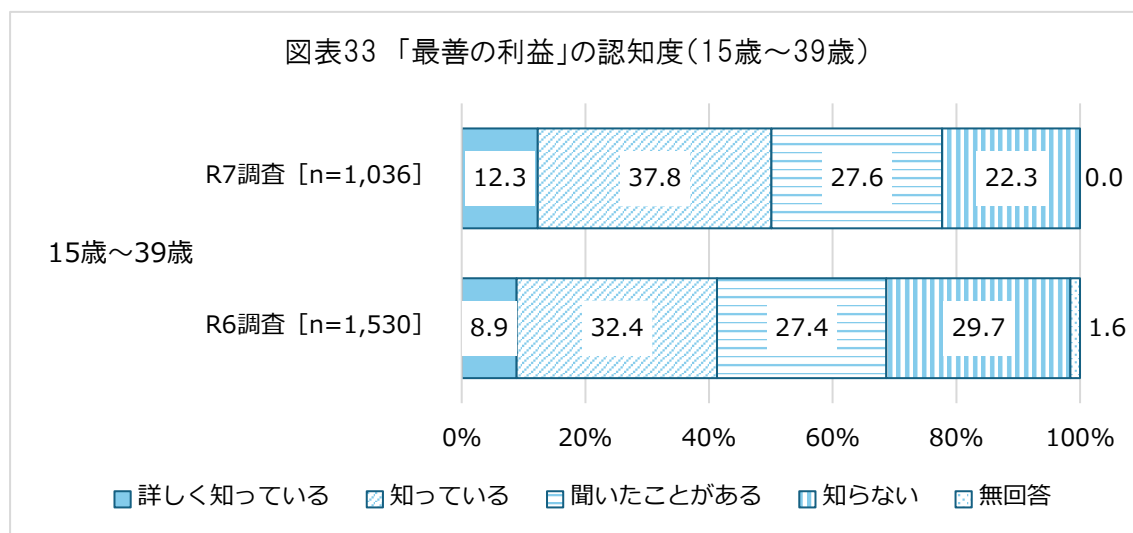


図表32 「差別の禁止」の認知度(40歳以上)



(イ)「最善の利益」の認知度

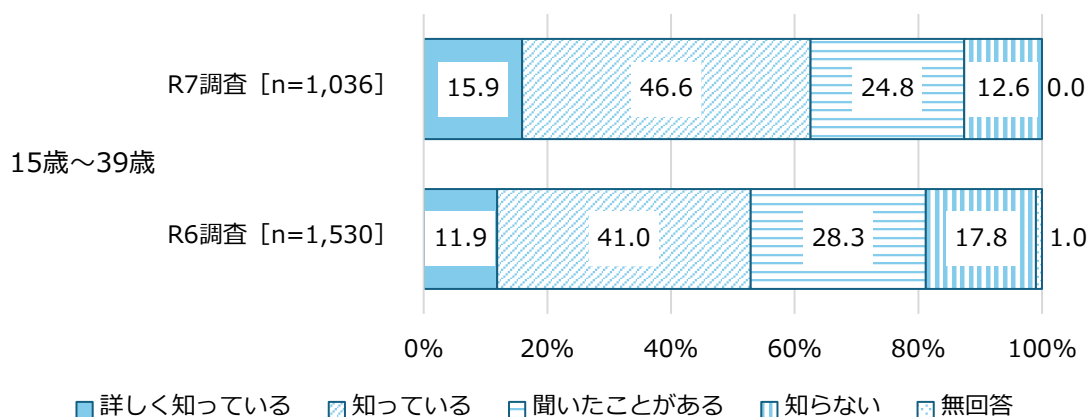
「子どもに関することが決められ、行われるときは「その子どもにとって最もよいことはなにか」を第一に考えること」について、「詳しく知っている」+「知っている」と答えた15歳～39歳は50.1%であり、前回調査（R6調査）と比較して8.8ポイント増加している。また、「詳しく知っている」+「知っている」と答えた40歳以上は60.9%であり、前回調査（R6調査）と比較して14.0ポイント増加している。



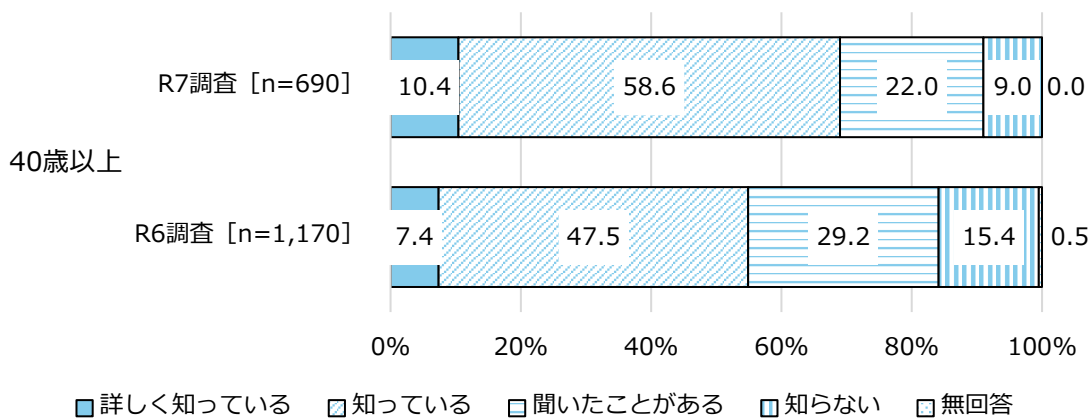
(ウ)「生命・生存」の認知度

「すべてのこどもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療・教育・生活への支援などを受けること」について、「詳しく知っている」+「知っている」と答えた15歳～39歳は62.5%であり、前回調査（R6調査）と比較して9.6ポイント増加している。また、「詳しく知っている」+「知っている」と答えた40歳以上は69.0%であり、前回調査（R6調査）と比較して14.1ポイント増加している。

図表35 「生命・生存」の認知度(15歳～39歳)

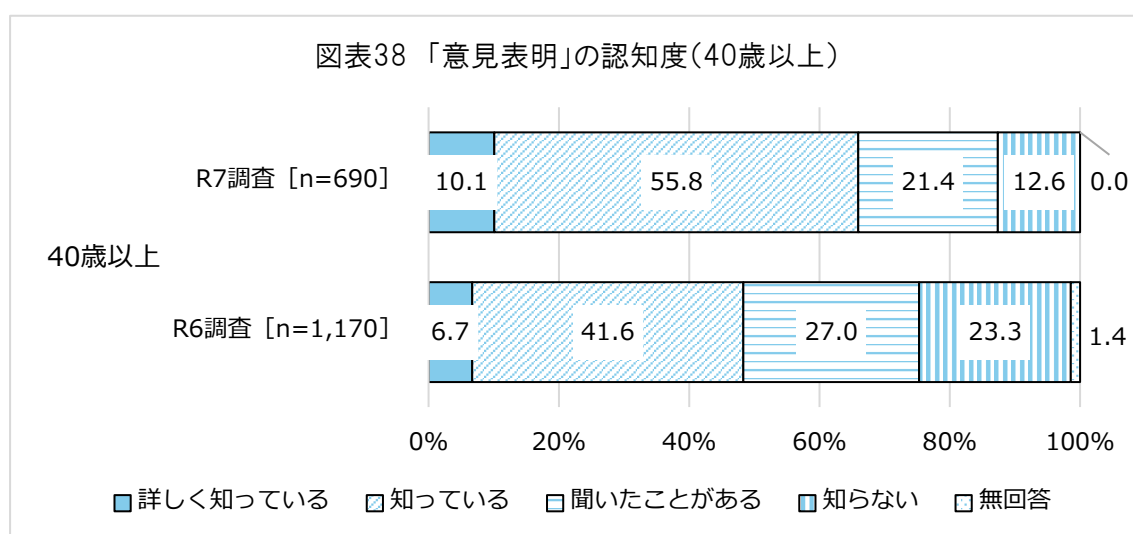
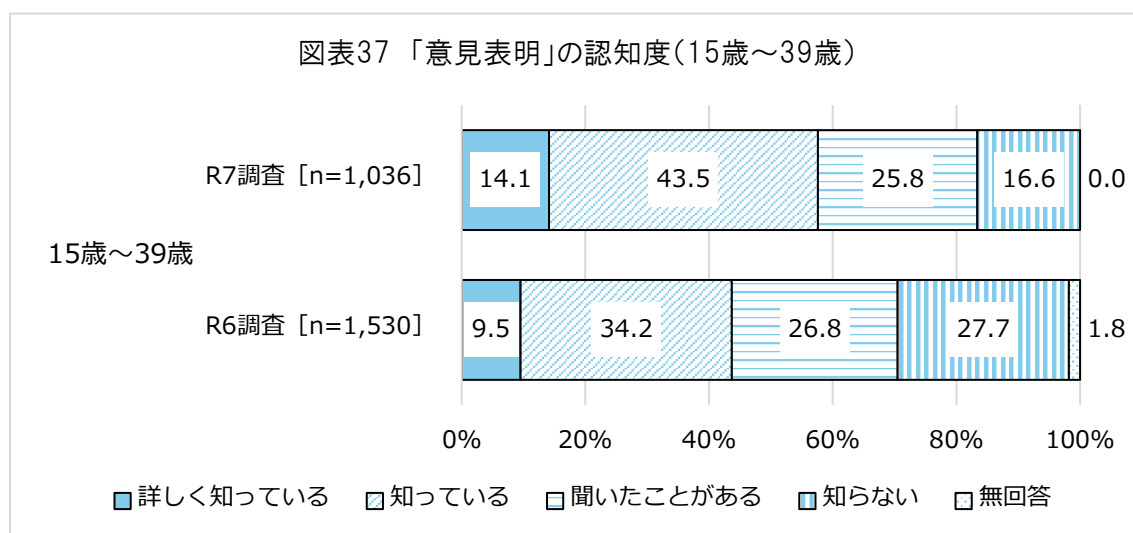


図表36 「生命・生存」の認知度(40歳以上)



(エ) 「意見表明」の認知度

「こどもは自分に関係あることについて自由に意見を表すことができ、おとなはその意見をこどもの発達に応じて十分に考慮すること」について、「詳しく知っている」+「知っている」と答えた15歳～39歳は57.6%であり、前回調査（R6調査）と比較して13.9ポイント増加している。また、「詳しく知っている」+「知っている」と答えた40歳以上は65.9%であり、前回調査（R6調査）と比較して17.6ポイント増加している。

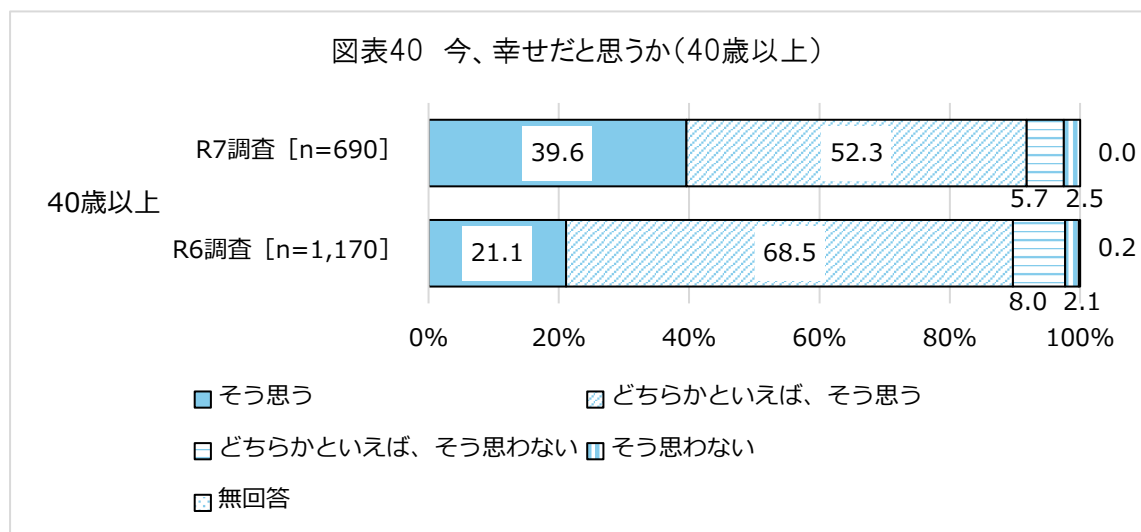
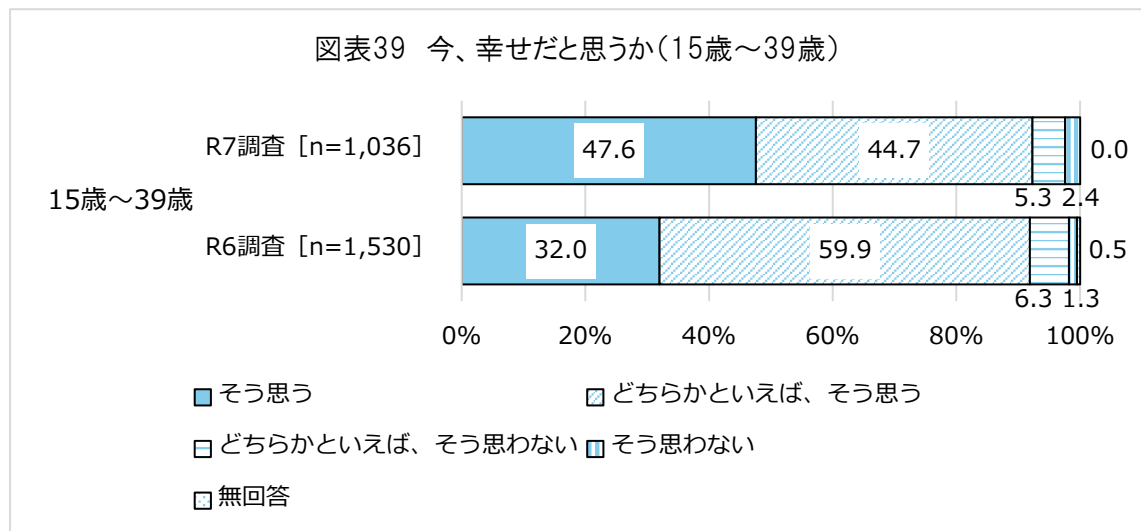


(3) 成果指標関係

① 今、幸せだと思うか

今、幸せだと思うかについて、15歳～39歳、40歳以上ともに、幸せだと思う（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）は、9割を超えている。

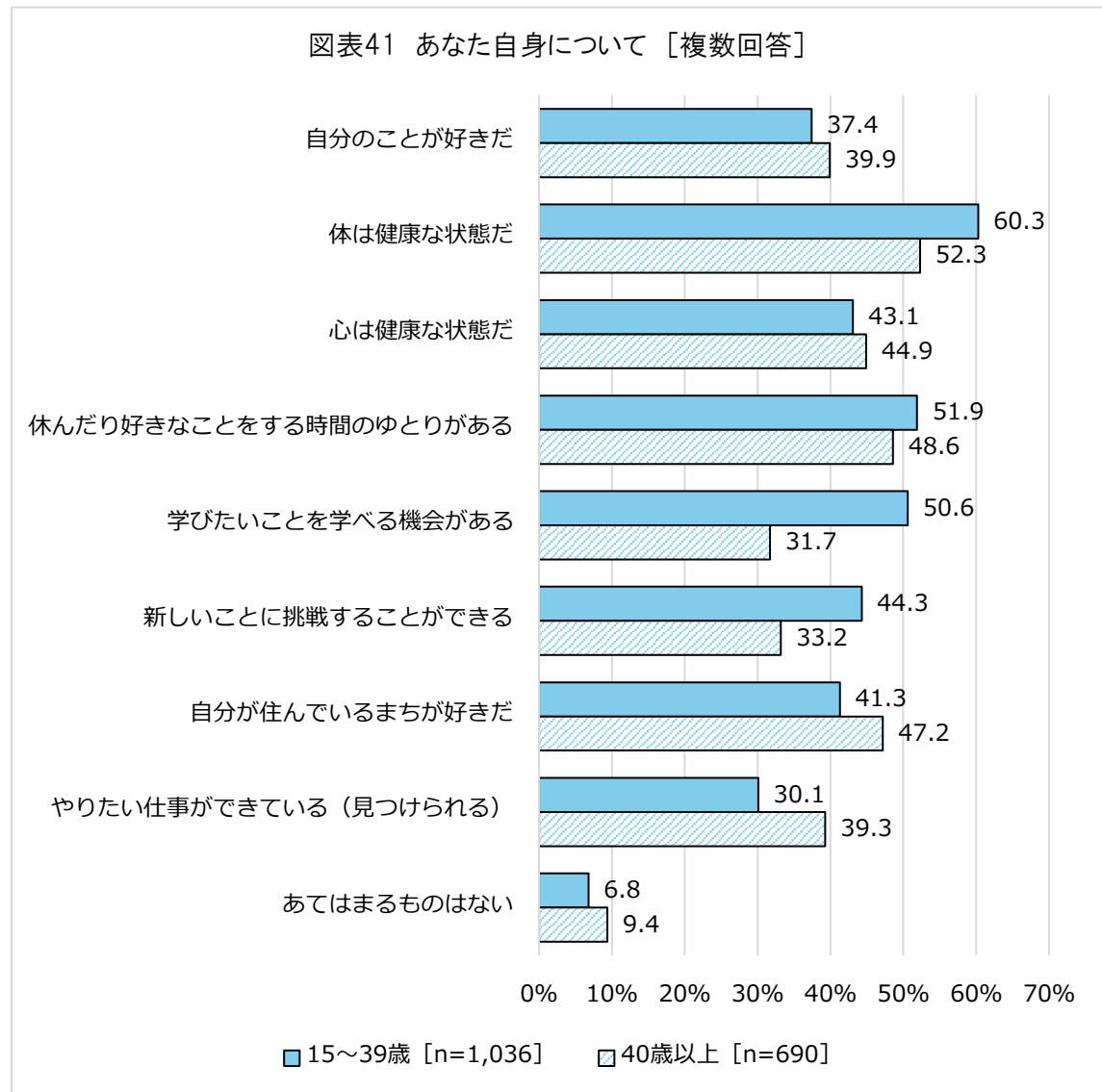
一方で、15歳～39歳、40歳以上ともに、幸せだと思わない（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）が、7～8%程度となっている。



② あなた自身について

あなた自身については、15歳～39歳では、「体は健康な状態だ」が60.3%、「休んだり好きなことをする時間のゆとりがある」が51.9%、「学びたいことを学べる機会がある」が50.6%となっている。

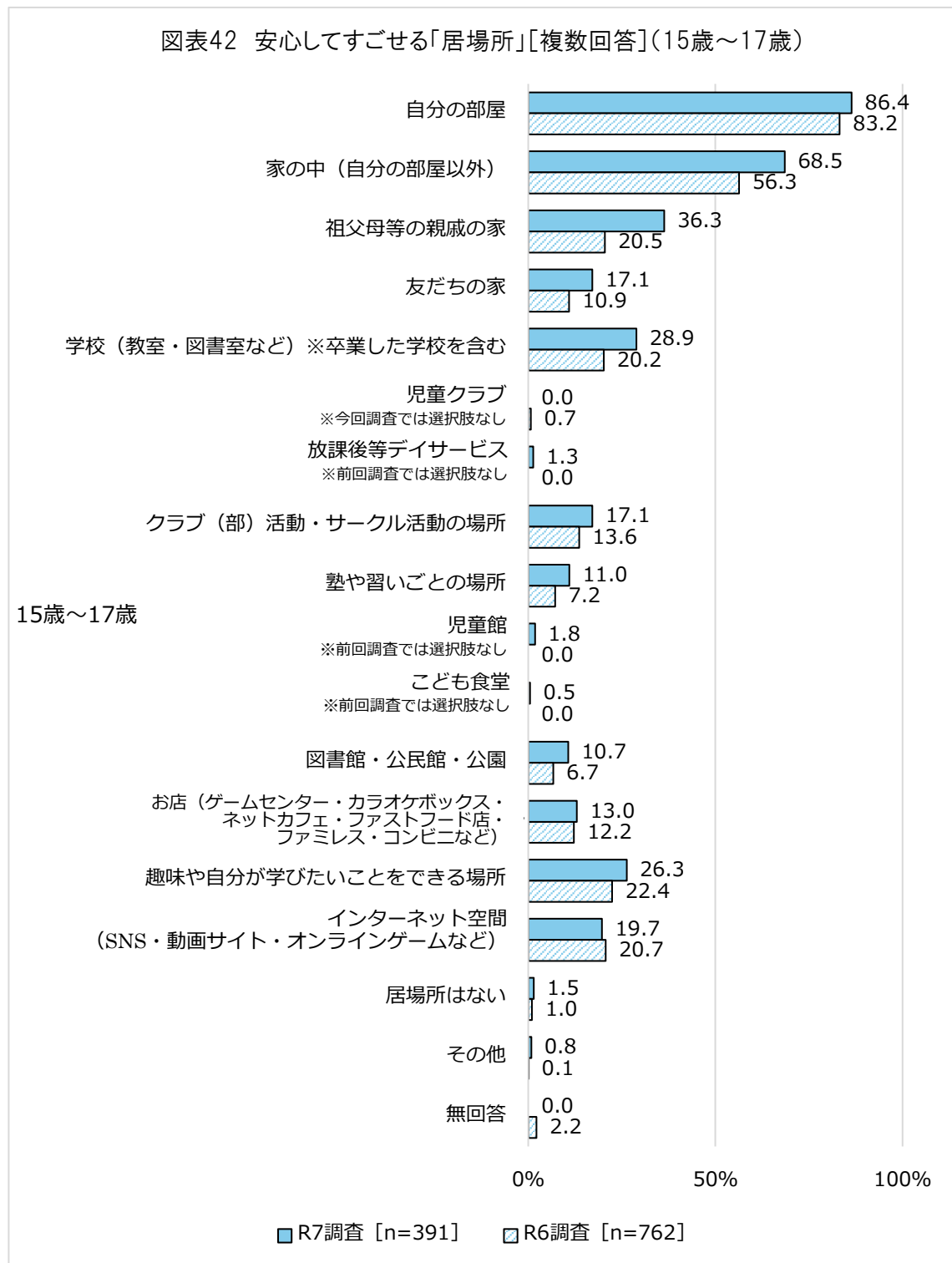
40歳以上では、「体は健康な状態だ」が52.3%、「休んだり好きなことをする時間のゆとりがある」が48.6%、「自分が住んでいるまちが好きだ」が47.2%となっている。



③ 安心してすごせる「居場所」【15歳～17歳のみ回答】

15歳～17歳が安心してすごせる「居場所」は、「自分の部屋」が86.4%、「家の中（自分の部屋以外）」が68.5%、「祖父母等の親戚の家」が36.3%となっている。

前回調査（R6 調査）と比べると、10ポイント以上高いのは、「祖父母等の親戚の家」「家の中（自分の部屋以外）」となっている。



④ ほしい「居場所」

「安心して過ごせる「居場所」として、どのような居場所があれば良いと思うか。」の質問に対して、合計 807 件の意見が寄せられた。内容を分類すると、「1.目的がある居場所」が 191 件、「2.目的を指定していない居場所」が 230 件、「3.その他」が 386 件であり、一部意見を抜粋して掲載している。

項目		件数
1.目的がある居場所	図書館・公民館・児童館・公園など	73
	児童クラブ	2
	商業施設	19
	勉強・自習・宿題・読書などができる	11
	運動・スポーツができる	3
	好きなこと・趣味・特技	22
	相談・悩みを聞いてくれる	60
	インターネット・Wi-fi がある	1
2.目的を指定していない居場所	友達や家族みんなと過ごせる	51
	1 人になれる	37
	こどもだけで過ごせる	1
	楽しい・幸せ	6
	安心安全・リラックス・休憩	97
	自由に過ごせる	18
	静かに過ごせる	13
	いじめのない・平等	7
3.その他	自分の家や部屋・親戚の家	142
	学校	8
	その他	236
合計		807

主な意見

1.目的がある居場所

1	児童館のような空間が増えてほしい。 図書館等でこどもも大人も安心して読書や勉強ができるスペース（椅子や机がある）があったら嬉しい
2	こども達の校区近くに児童館があるといいなと思う。公園も温暖化で暑くて遊べないとか不審者がいたりとなかなか安心して遊びに行かせれないことが多い。なので児童館がない所は公民館の一部スペースを開放したりとこどもが安心して遊べる場所があるといいなと思う。
3	こどもを連れてゆっくりご飯が食べれる飲食店や子育てについて相談や情報交換ができるサロン
4	勉強もできるし相談もできるような施設
5	各々が自分のやりたい事を周囲を気にせず出来る場所
6	自分の趣味と同じ趣味をもっている人と、語り合えたり、一緒に活動できたりする。
7	自分の悩みを話しても否定されずに、真剣に聞いて受け入れてもらえる場所
8	同じ悩みを持った人達が集まり、意見を言える場所

2.目的を指定していない居場所

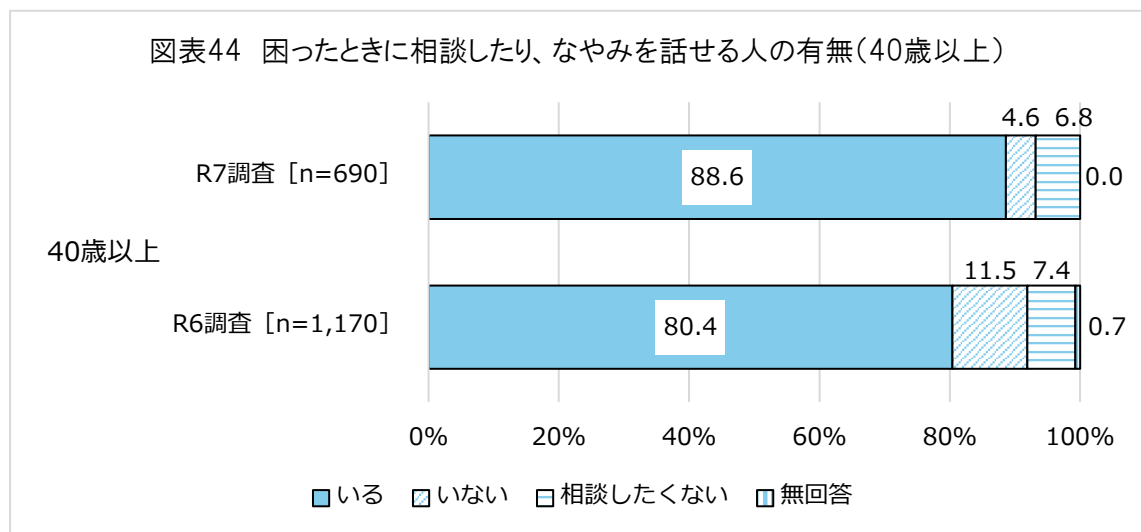
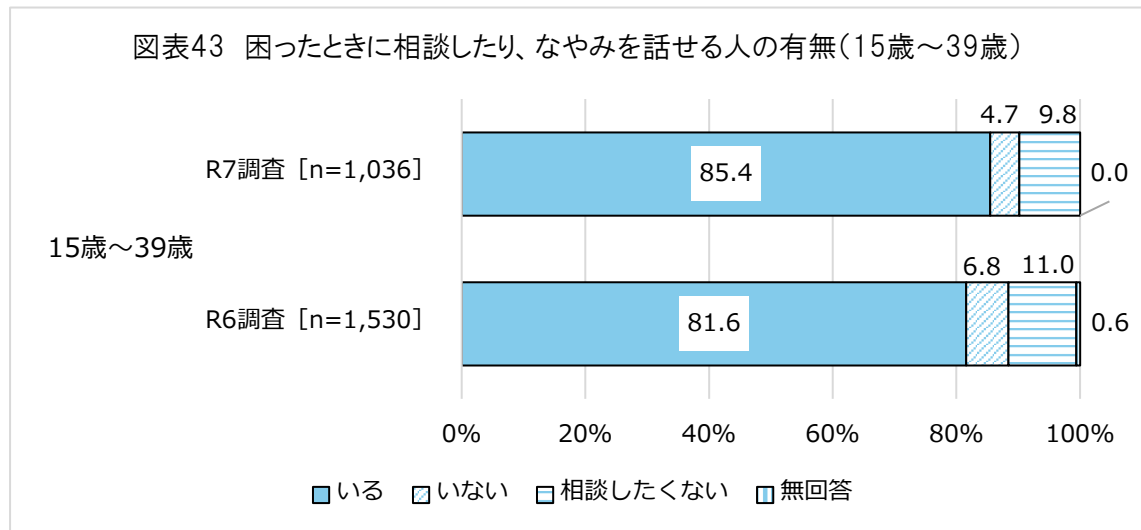
1	家族と一緒に笑顔で過ごせる場所
2	仲のいい友達と一緒にすごせる場所
3	一人になりたい時にはなれて、誰かと話をしたいときには話することができるような場所
4	落ち着いて過ごせる場所
5	誰でも、いつでも心を休ませられる場所
6	リラックスできてホッとできる居場所
7	立場やお金、時間など何も気にせず自由に過ごせる場所
8	静かで、もめごとのない場所

3.その他

1	学校に行けても教室までの登校が難しいこどももいるので、小学校や中学校の空き教室で（できればすべての小・中学校で）保健室でも教室でもないこどもが安心して学校にいれる居場所があれば嬉しい。
2	家以外で自分を認めてくれる大人と関わるができる場所
3	何でも言えて素の自分になれる場所
4	自分のことをそっとしといてくれる場所
5	誰でも利用できるフリースペースがあるといいと思う。しかし、安全のために防犯カメラや警備員若しくは管理人は必要だと思う。
6	子育てを経験した地域の人たちが持ち回りで、見てくれるような場所。畑作業を地域のみんなでやれる場所。
7	こどもの急な体調不良でも仕事に融通が効くか、病児の受け入れがスムーズな場所が欲しい

⑤ 困ったときに相談したり、なやみを話せる人の有無

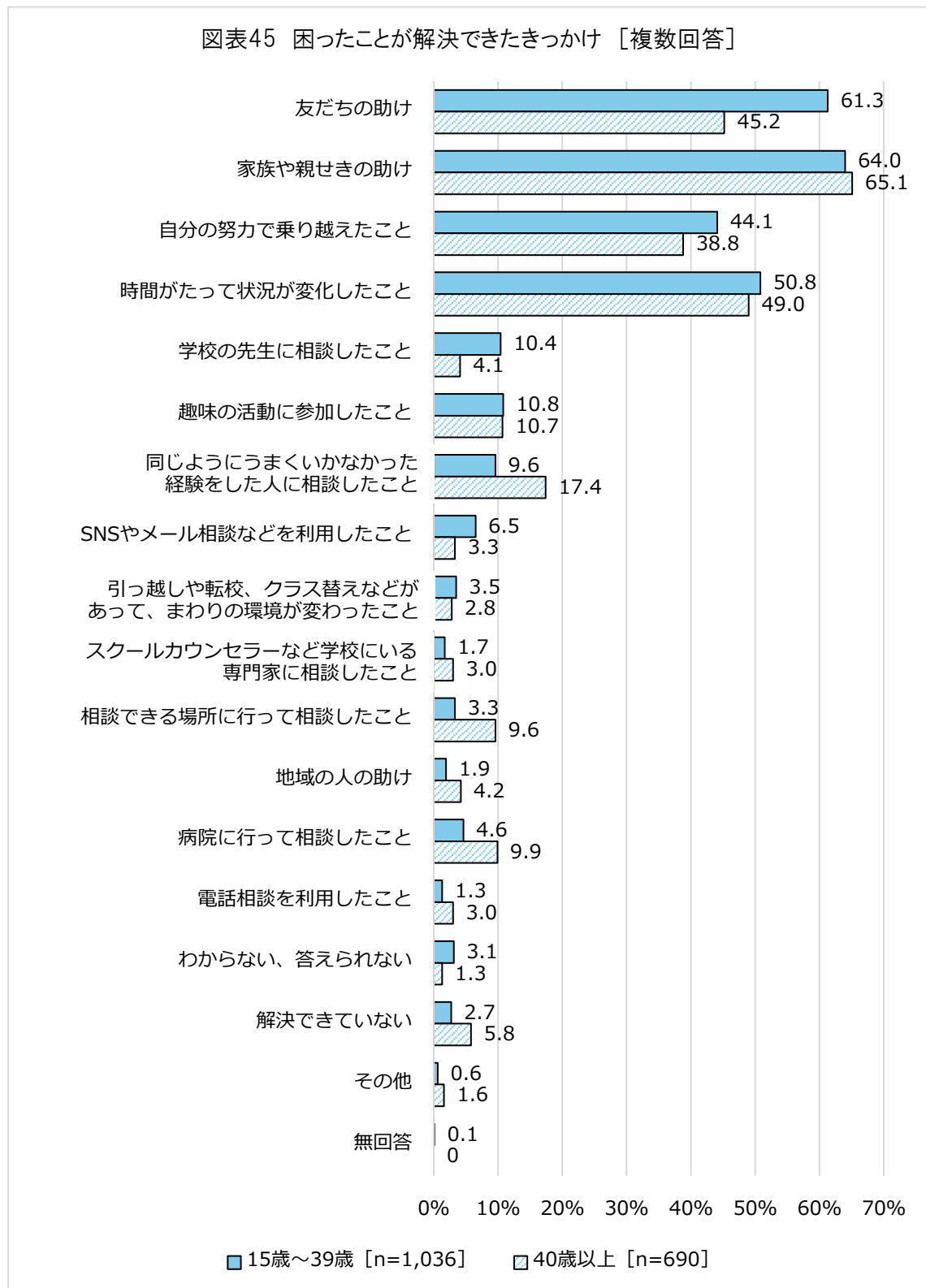
困ったときに相談したり、なやみを話せる人について、「いる」と答えた 15 歳～39 歳は 85.4%、40 歳以上は 88.6%となっている。一方で、15 歳～39 歳では、「相談したくない」が 9.8%、「いない」が 4.7%、40 歳以上では、「相談したくない」が 6.8%、「いない」が 4.6%となっている。



⑥ 困ったことが解決できたきっかけ

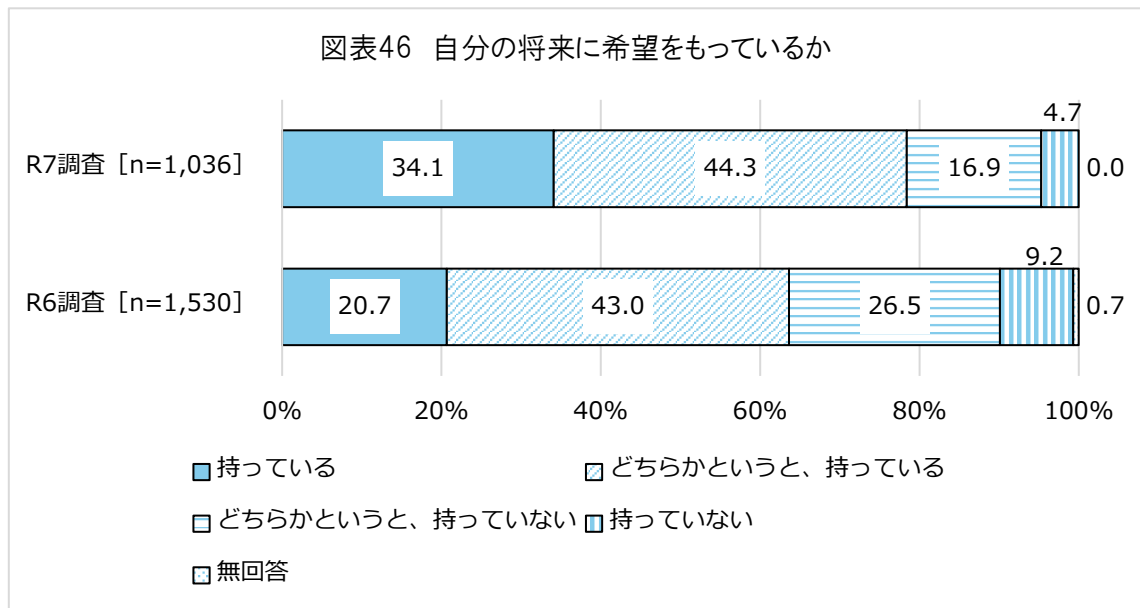
困ったことが解決できたきっかけについては、15歳～39歳では、「家族や親せきの助け」が64.0%、「友だちの助け」が61.3%、「時間がたって状況が変化したこと」が44.1%となっている。40歳以上では、「家族や親せきの助け」が65.1%、「時間がたって状況が変化したこと」が49.0%、「友だちの助け」が45.2%となっている。

15歳～39歳では、「友だちの助け」が40歳以上に比べ高く、40歳以上では、「同じようにうまくいかなかった経験をした人に相談したこと」が15歳～39歳に比べ高くなっている。



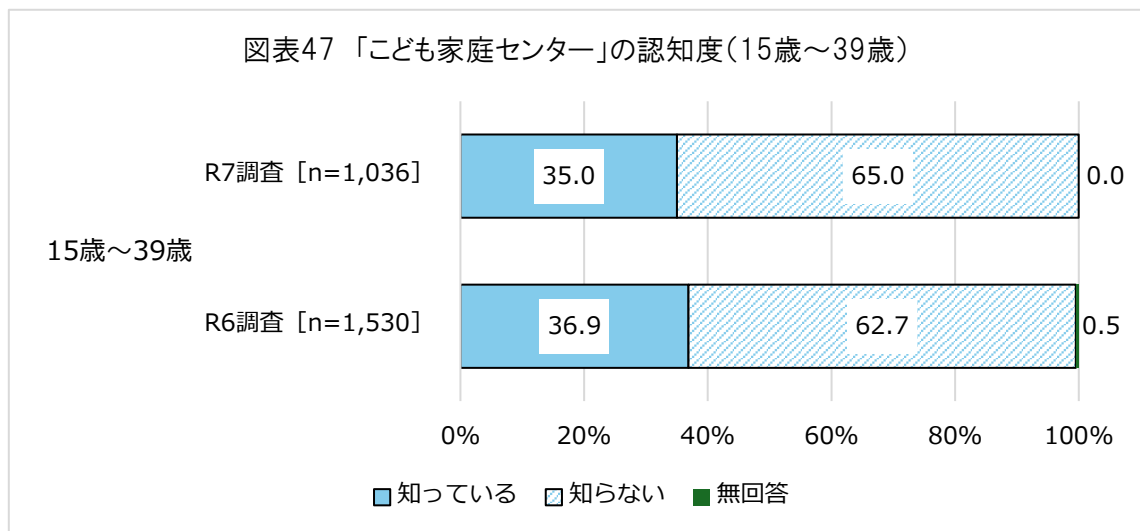
⑦ 自分の将来に希望を持っているか【39歳以下のみ回答】

自分の将来に希望をもっているかについて、「持っている」+「どちらかという、持っている」が78.4%となっている。

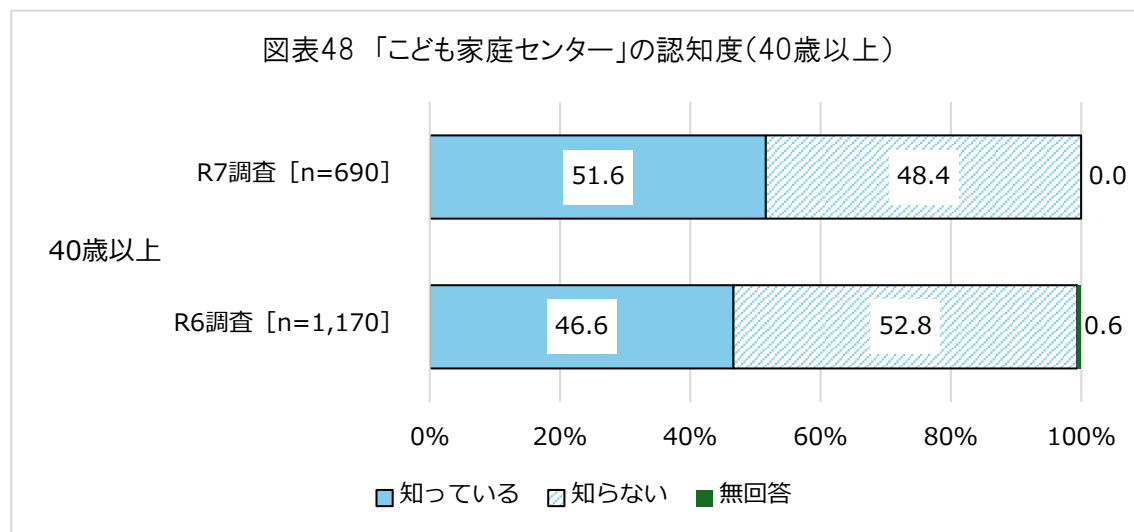


⑧ 「こども家庭センター」の認知度

「こども家庭センター」については、15歳～39歳では「知っている」が35.0%、「知らない」が65.0%となっている。前回調査（R6調査）と比べると、「知っている」と答えた15歳～39歳は1.9ポイント低くなっている。



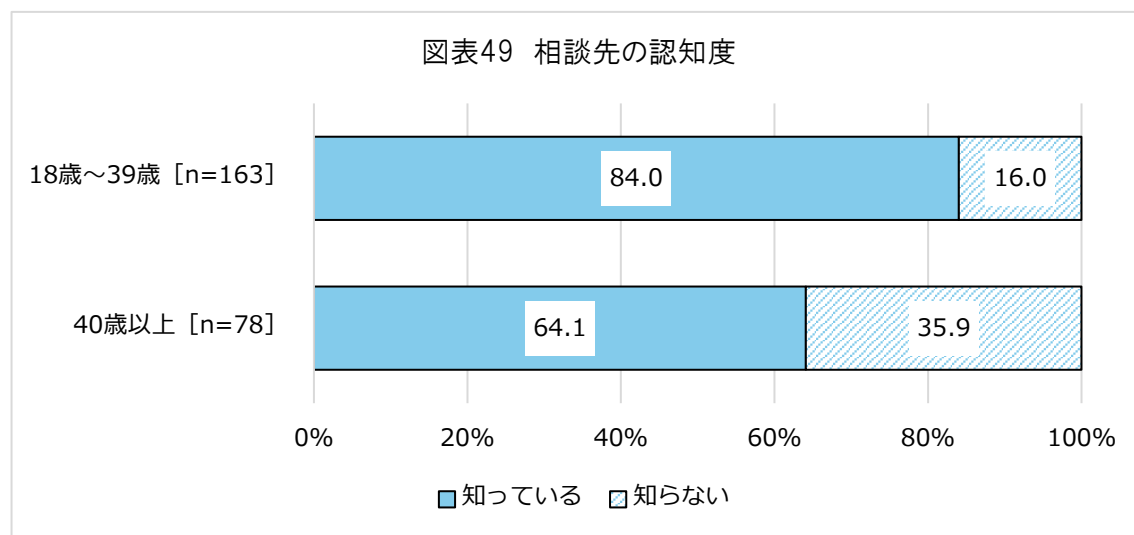
40 歳以上では「知っている」が 51.6%、「知らない」が 48.4%となっている。前回調査（R6 調査）と比べると、「知っている」と答えた 40 歳以上は 5.0 ポイント高くなっている。



(1) ④で、「いる」を選択し、未就学児が1人以上いると回答した方

⑨ 「こども相談やすく・サポートなど、子育てについて困ったことや心配なことなどがあった時の相談先」の認知度

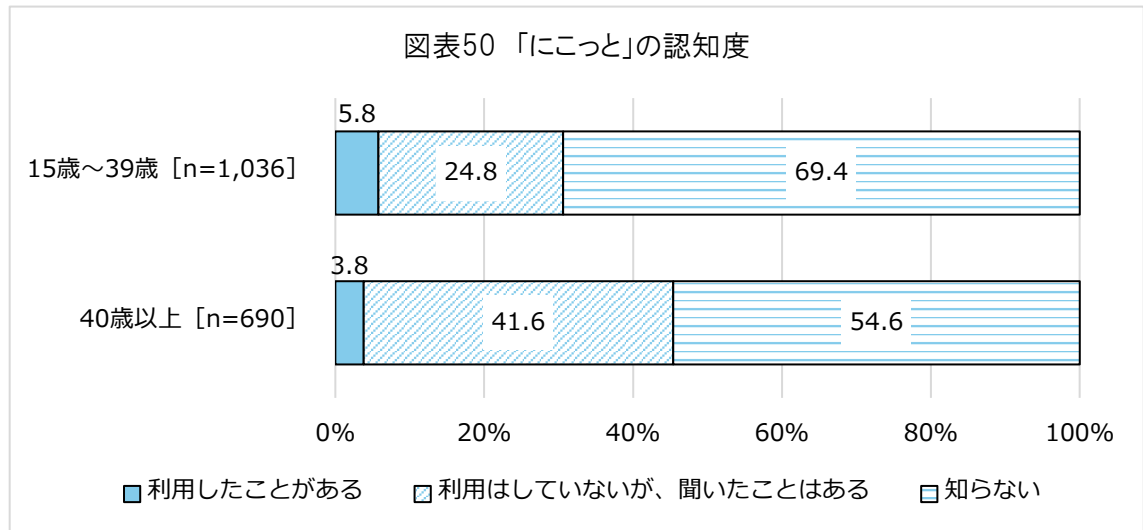
「相談先」については、18 歳～39 歳では「知っている」が 84.0%、「知らない」が 16.0%となっている。また、40 歳以上では「知っている」が 64.1%、「知らない」が 35.9%となっている。



(4) こども施策関係

① 「にこっと」の認知度

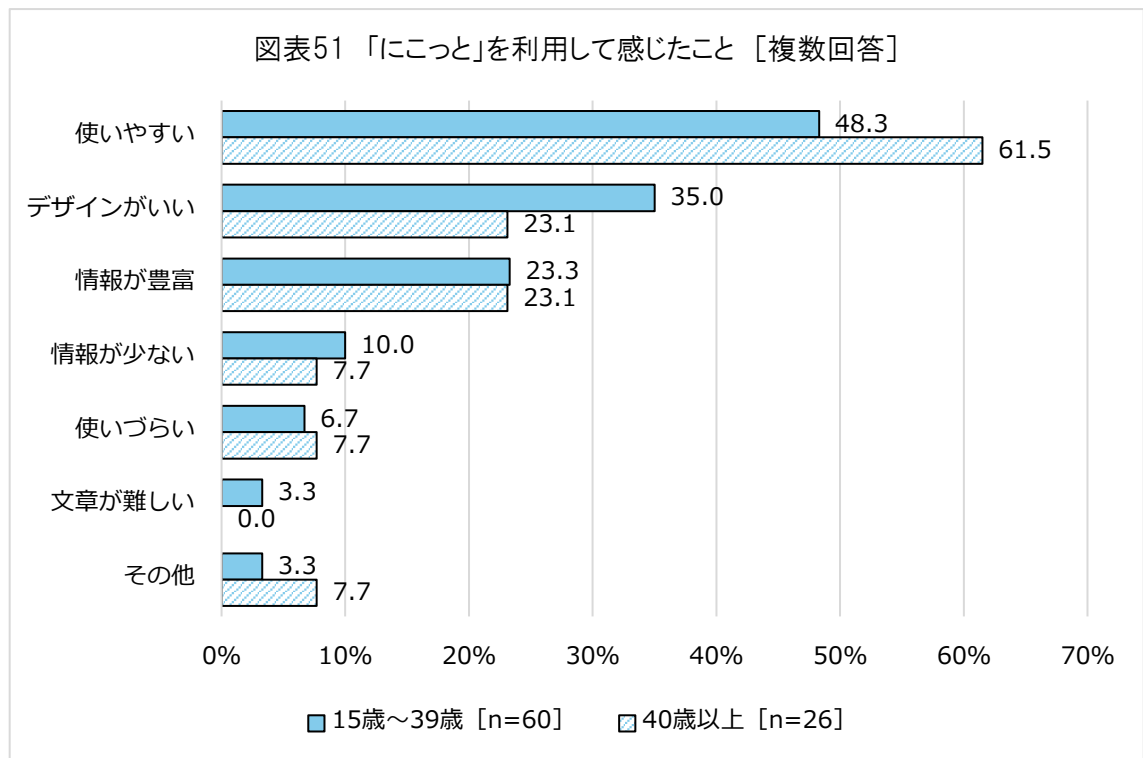
「にこっと」については、「利用したことがある」+「利用はしていないが、聞いたことはある」と答えた15歳～39歳は30.6%、40歳以上が45.4%となっている。



(4) ①で、「利用したことがある」と回答した方

② 「にこっと」を利用して感じたこと

「にこっと」を利用して感じたことについては、15歳～39歳は「使いやすい」が48.3%、「デザインがいい」が35.0%、「情報が豊富」が23.3%となっている。40歳以上は「使いやすい」が61.5%、「デザインがいい」「情報が豊富」が23.1%となっている。



③ 松山市のこども施策について、現在の取組みに関するご意見や市にしてほしいこと

現在の取組みに関するご意見や市にしてほしいことについて、合計 406 件の意見が寄せられた。内容を分類すると、「1.経済的支援」が 72 件、「2.結婚、妊娠、出産」が 21 件、「3.保育」が 16 件、「4.子育て支援」が 27 件、「5.教育」が 19 件、「6.特別な支援を必要とするこども」が 38 件、「7.子育て当事者の支援」が 9 件、「8.居場所の充実」が 63 件、「9.相談の機会」が 20 件、「10.まちづくり」が 51 件、「11.こども・若者の意見の反映」が 5 件、「12.上記 1～11 以外の意見」が 65 件であり、一部意見を抜粋して掲載している。

項目		件数
1.経済的負担	教育費について	23
	物価高騰について	6
	オムツ券について	2
	金銭的支援の充実	20
	減税について	4
	制度の不公平感	10
	その他	7
2.結婚、妊娠、出産	結婚・出産支援	14
	不妊治療の支援	5
	産後ケアの充実	2
3.保育	保育料について	7
	保育所の入所について	2
	保育士について	1
	保育サービスの充実	6
4.子育て支援	サービスの充実	24
	児童クラブについて	3
5.教育		19
6.特別な支援を必要とするこども		38
7.子育て当事者の支援	家庭と仕事の両立支援	5
	ひとり親の支援	4
8.居場所の充実	こども向け	30
	若者向け	2
	地域の遊び場の充実	31
9.相談の機会	相談窓口、相談機会の充実	12
	身近な相談の場	8

項目		件数
10.まちづくり	地域コミュニティ	9
	安心して暮らせるまちづくり	10
	安全な環境づくり	4
	将来の希望が持てるまちづくり	11
	企業の誘致、働く場所づくり	3
	公共施設等の改善・充実	10
	交通インフラ整備	4
11.こども・若者の意見の反映		5
12.上記 1～11 以外の意見	市役所について	2
	情報の周知	10
	悩み	4
	大人への教育	1
	男女平等の推進	1
	その他	47
合計		406

主な意見

1.経済的負担

1	高校の授業料無償化。大学の授業料の軽減。
2	大学生も医療費無料にしてほしい。インフルエンザの予防接種も毎年で金額が大きいので公費だしてもらえると本当に助かります。 入学準備にとっても大きなお金がかかるのでお祝い補助などがあると助かります。
3	もっと子どもを育てやすい環境（特に金銭面）に整えていってくれたら、安心して子育てできると思う。
4	金銭面や家庭の事情で子どもがやりたい事、学びたい事を我慢せざるを得ない状況の家庭もたくさんあると思う。子どもかのびのびと生活できる環境を整えてあげて欲しい。

2.結婚、妊娠、出産

1	新婚の方への手厚い政策もちろんですが、今子どもが二人いて三人目の子どもをどうするか迷っている方も多いです。金銭や多方面でのフォローがあるといいかなと思います。また子どもが三人以上いる世帯は大事にして欲しいです。子ども三人以上は本当に大変です！
2	不妊治療の補助金額をもっとあげてほしい
3	2人目以降の不妊治療の補助金や制度の充実化や多胎児世帯への支援並びに補助金の強化。
4	産後ケアについて、助成金が増え、自己負担額が減り、活用したいが、利用できるのが母と産まれた子に限定されているため、兄弟(特に未就園児)がいる場合は活用が難しい。夜間は夫に任せたとしても、利用したい時は、日中の子どもの預け先も探す必要があり、現実的でない。

3.保育

1	保育料の引き下げか無償化をお願いしたい。保育料が高く第二子を検討できない。
2	病児保育の拡充

4.子育て支援

1	子育て世帯への支援をさらに充実させてほしい。金銭的な理由で第二子以降を諦める人が減るようになればよいと思います。 市独自の支援や補助を増やすことでより魅力ある街になると思います。
2	保育所や放課後児童クラブなど、働く両親のもとで育つ子どもへの取組をどんどん進めてほしい。
3	子育てに行き詰まっている母親のサポートが急務。（特に低年齢児）母親が一人で休める時間を作れるよう、地域全体で子育てをする風潮を作り上げる必要性を感じる。

5.教育

1	夏の猛暑日が多く、昔とは違い学校生活が厳しいものになっています。体育館にクーラーを付けるニュースを聞きましたが、早めに実行していただきたいです。
2	こどもの登校時間をもう少し遅らせてあげてほしい。高学年になり習い事をしていると、十分な睡眠時間を確保してあげることができません。

6.特別な支援を必要とするこども

1	不登校のこどもの受け入れ場所を増やしてあげて欲しいです。自分の居場所はきちんとあることを思わせてあげたいです。
2	不登校のこどもたちが行きやすい学校作り、学校の中に教室以外で居場所を作ってほしい。

7.子育て当事者の支援

1	子育てしながらフルタイムで働くことは核家族では結構難しいです。主人と助け合って乗り越えていますもう少しサポートがあったら嬉しいなともあります。病児保育やファミリーサポート制度も知っていて登録したこともありますが気軽には使えないのでほとんど利用したことがありません。周りのお母さん達を見ていると各家庭色々事情や悩みがありますが自分たちで解決したり乗り越えたりしています。こども達に色々体験させてあげたい、そのためには働いてお金を得ることが必要、でもフルタイムでがつつり働くとかこどもの習い事や休みの日のお出かけなど出来ない事が多いです。家族の為に普段苦労するのはしょうがないと思いますが、時々お母さんも羽を伸ばしてリフレッシュしたいなと思います。こどもも親も毎日楽しく笑顔で過ごせる地域であればいいなと思います。
2	ひとり親家庭の支援を増やしてほしい。こどもが心配だから児童クラブに預けたいのに生活が苦しくて難しい。ひとり親家庭の税金を減らしてほしい。

8.居場所の充実

1	小学生が楽しく遊べる場所を増やして欲しいです。 最近夏は暑すぎてアラートが出て外で遊べないので、室内でも楽しい場所がたくさんあれば嬉しいです。
2	最近、ボール遊びが出来る公園が減っているので、こども達が公園で遊ぶという機会が昔より減っていると感じている。ある程度の広さがある公園、広場には地域の意見を聞きつつ、ネットで囲うなどしてボール遊びができる環境を整えば良いと思う。
3	こどもが安心して遊べる、集まる場所がほしい。
4	こどもが安価でスポーツやダンス、勉強など気軽に学べる施設を増やしてほしい。
5	自由に居られる場所があればいい

9.相談の機会

1	相談窓口があることは知っていますが、平日しか利用できないと、相談に行くことが難しく悩みを抱えたまま時間が過ぎていってしまうのが現状です。親としてこどもを最優先に動くべきですが、時間の確保が難しいため解決を先延ばしにしています。
2	こどもが大きくなると、こどもの事で悩み事が出来ても、相談する場所が少ないような気がします。思春期のこどもの扱いに苦労することも皆さんあるかなと思います。そのようなことを気軽に話することができる場所があればいいかなと思います。

10.まちづくり

1	こどもが元気に大きくなれる場所、こどもを安心して育てられる環境を望みます。
2	子育ての支援をもっと行い、若い世代が暮らしやすい街をつくって欲しい
3	通学時の安全性が不安。
4	こどもが気兼ねなく遊べるイベント（保護者も楽しめるもの）をたくさんしてほしい
5	公園周辺は道路と面している所が多く、また交通量も多いため、安全に遊べるよう整備してあげてほしいです。自転車で行く子も多いので、スペースに限りがあるとは思いますが自転車置き場など考慮していただけたら助かります。
6	高校生や大学生に対して、県内の企業の紹介をして欲しい。大学生は県外の大学に行っている人もいるため、できるだけ大学生の長期期間中に実施して欲しい。 紹介する企業は、一般企業だけでなく、福祉・医療関係もして欲しい。福祉・医療関係のセミナーや就活フェアが少なく、現状は自分で見学を申し込む形だが大学教授からの紹介が多いため県外の大学に通っている大学生は県外の機関を紹介されやすくなる。

11.こども・若者の意見の反映

1	もう少し、こどもの主張を聞く必要があると思います。生活環境も大切にするのも必要です。
2	こどもの意見をしっかり聞ける場を設けることが1番だと思います。ネット社会なのでネットからすぐ投稿できるようなプラットフォームを作るべきではないでしょうか。
3	こども側の意見をどんどん取り入れてくださることを期待します。児童館に行くようになってこのような取り組みを知りましたが、もっと子育て世代以外にも目にとまるよう広報など頑張してほしいです。

12.上記 1～11 以外の意見

1	こども政策について、意見や思いを回答できるように、これをきっかけに知っていこうと思います。
2	こどもに関わるすべての人がこどものことを知り、こどものこれからの将来の事を考えながら活動をしていくことができると良い
3	まだまだ市民に浸透していないサービスがあるのがもったいない。年齢によって情報収集する方法が違うので、今以上にSNS、広報、TV等様々な方法でもっとわかりやすく発信していく必要があるのではないのでしょうか。
4	こどもたちが安全に過ごせるために働いて下さりありがとうございます。私たちはおかげで毎日が楽しいです。これからもこども施策を頑張ってください。応援しています！！